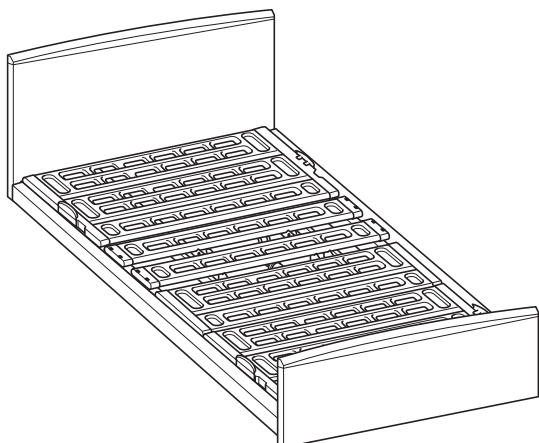


INTIME TRUST

Produced by PARAMOUNT BED



このたびは、**INTIME TRUST**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立方法や使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

	ページ
この製品について	3~4
1 各部の名称	5
2 安全に使用するための注意事項	6~13
3 設置についての注意事項	14
4 ベッドの使用方法	15~24
1. 手元スイッチの各部のなまえと働き	15~16
2. 手元スイッチの取付位置について	17
3. ベッド／手元スイッチの電源の入れかた	18
4. 背の動かしかた	19~21
5. 膝の動かしかた	22
6. メモリーポジションへの動かしかた	23
7. サイドパネルについて	24
5 手元スイッチによるベッドの設定のしかた	25~30
1. 設定モードへの切換え	25
2. ベッドの各動作設定	26~27
3. 操作ボタンのロック（操作禁止）の設定	28
4. メモリーポジションの設定	29
5. 設定のリセット	30
6. 手元スイッチの交換お知らせ表示	30
6 マットレス（別売）の使用方法とご注意	31
7 適合オプションについて	32~35
適合表	32
1. ベッドサイドレール	33
2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール.....	33
3. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ）.....	34
4. ソフトカバー付/サクッとポケット付ベッド用グリップ	34
5. キャスター	34
6. サイドサポート	35
7. ハイトスペーサー	35
8. 脚座ゴムシート	35
9. スマートハンドル	35
8 適合オプションの組合せと取付位置について	36~37
1. ベッド用グリップを使用する場合	36~37
2. ベッドサイドレールを使用する場合	37
9 定期点検と日常のお手入れ	38
1. 定期点検について	38
2. 日常のお手入れについて	38
10 故障かな？と思ったら	39~40

11	緊急時のベッド操作のしかた	41~43
	1. 手動による背さげのしかた／戻しかた	41~42
	2. スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について	43
12	長期間使用しない場合と移動 (移設) について	43
13	仕様	44
14	梱包部品の確認	45~46
15	ベッドの組立方法	47~52
	1. 本体の設置	47
	2. サイドフレームの引出し	48
	3. マットレス止めの取付け	49
	4. ヘッドボード・フットボードの取付け	50
	5. サイドパネルの取付け	51~52
16	組立後の点検	52~54
17	ベッドの分解方法	55~58
	1. 分解作業前の準備	55
	2. ヘッドボード・フットボードの取外し	55
	3. サイドパネルの取外し	56
	4. マットレス止めの取外し	56
	5. ボトム取外し	57
	6. サイドフレームの取外し	58
	7. 付属部品と分解したユニットの保管	58
	アフターサービスについて	59

おことわり

●このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

- ・ベッドサイドレール → サイドレール
- ・ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー / サイドグリップ)
→ ベッド用グリップ

この製品について

■この製品は、ご家庭でのライフスタイルにあわせて多目的にご利用いただくために作られたベッドです。ベッドには次のような特長があります。

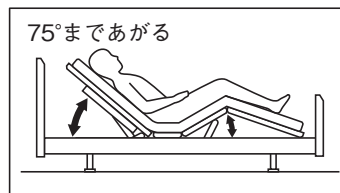
このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

1. 電動でお好みのベッドポジションが調節可能

a. らくらくモーション [☞ 19~20ページ]

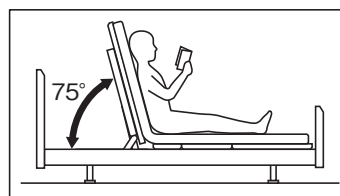
背ボトムの「あげ/さげ」と連動して、膝ボトムが自動で動作します。

身体のずれを軽減し、背あげ時の姿勢をしつかり保持します。



b. 背あげ [☞ 21ページ]

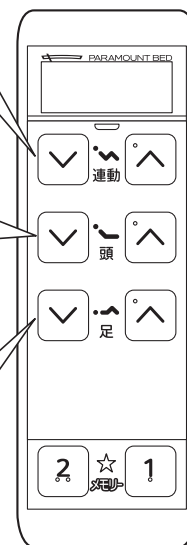
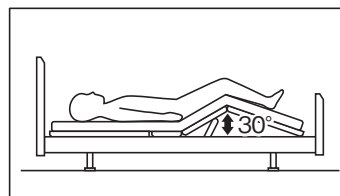
背ボトムを水平から75°まで調節できます。



c. 膝あげ [☞ 22ページ]

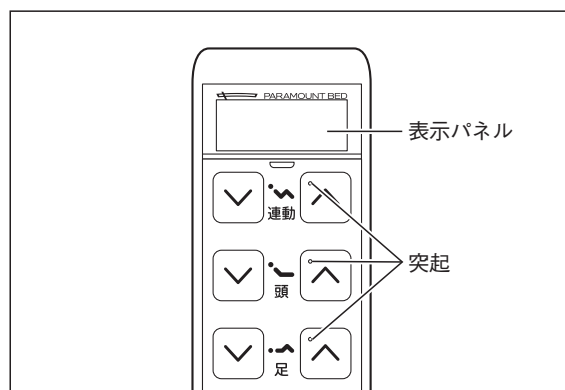
膝ボトムを水平から30°まで調節できます。

背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。また背あげ時に先に膝をあげると、身体のずれを少なくすることができます。



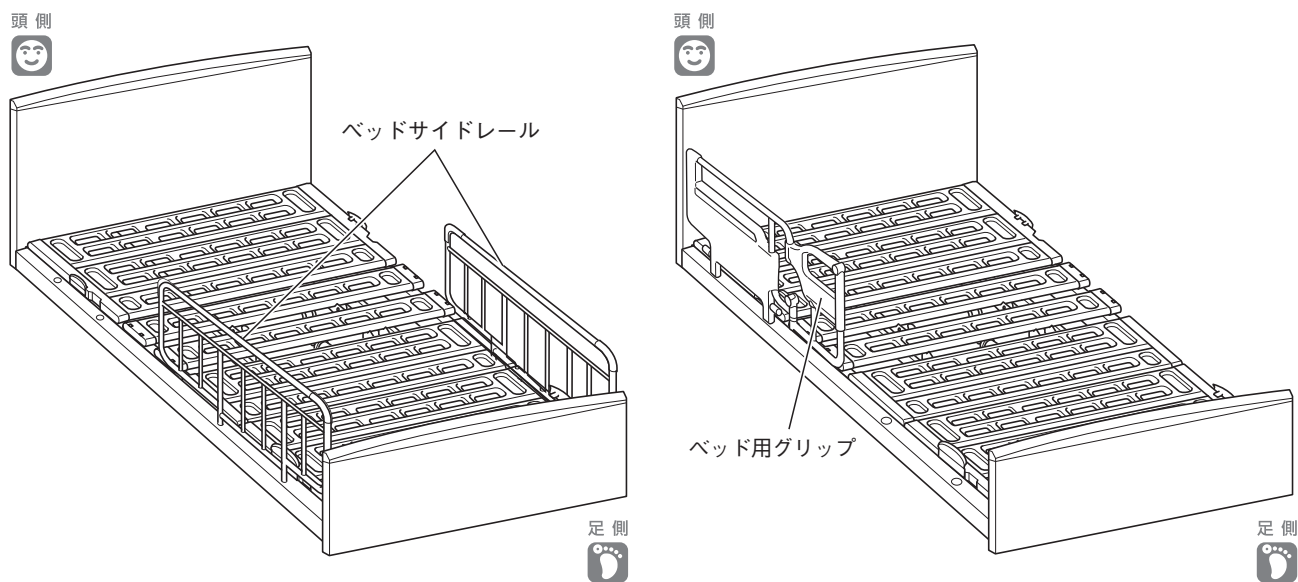
2. ベッドの情報を画面表示

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示されます。ベッドの調節時に角度が一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感で \wedge / \vee を区別できます。



3. サイドパネルとオプション取付穴 [P.24・33~34・51~52ページ]

サイドパネルの取付け向きを変えることによりオプション取付穴を使用することができ、適合するベッドサイドレール (別売) やベッド用グリップ (別売) を取付けることができます。
これらのオプションを使用することで、お身体の状態に適したサポートが可能です。

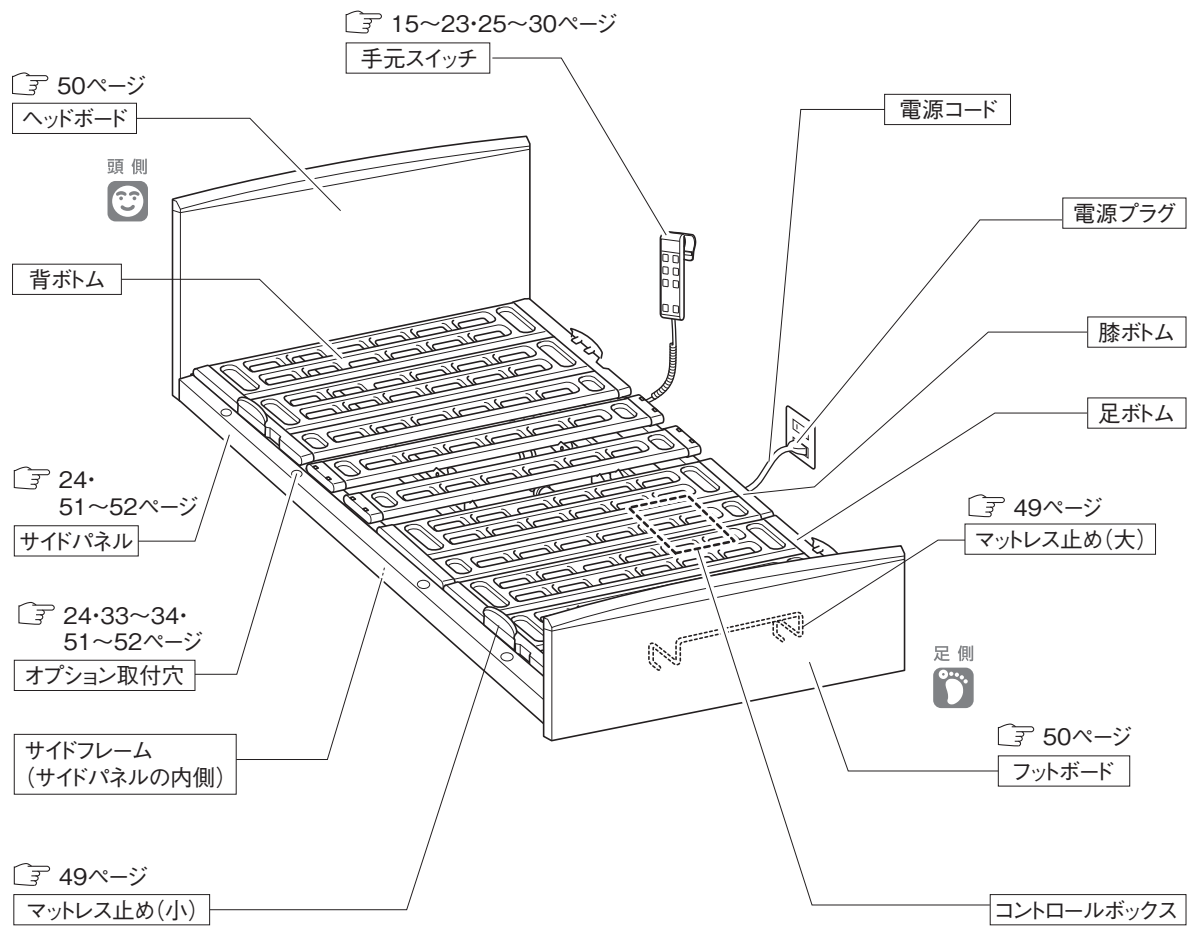


4. 静粛性にすぐれたリニアアクチュエーター

静粛性にすぐれたリニアアクチュエーターを採用しているため、ベッドの電動動作音が静かです。

1 各部の名称

このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。





※イラストはオプション取付穴を使用することができる状態で説明しています。

2 安全に使用するための注意事項

■ご使用の前に、必ずこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告 <small>けい こく</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意 <small>ちゅう い</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<p>★『安全に使用するための注意事項』などに記載の項目で、特に【すき間についての注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。</p>	

2 安全に使用するための注意事項



ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品を使用してください

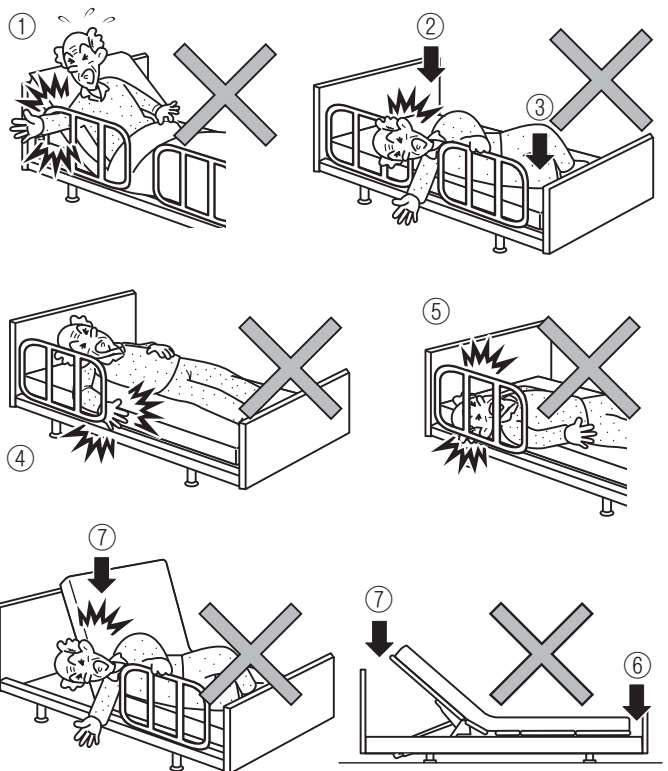
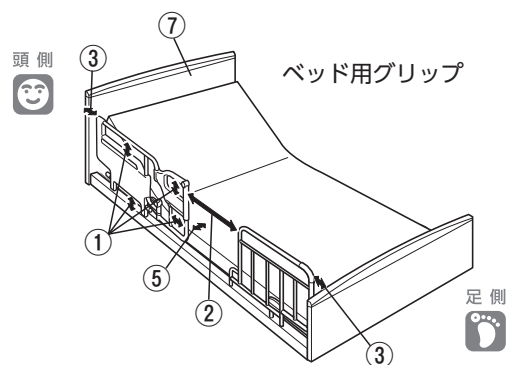
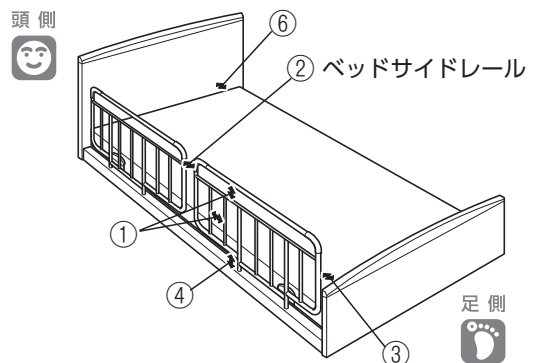
指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

■ すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部(特に頭や首など)がはさまれると、けがをするおそれがあります。特にベッドサイドレールやベッド用グリップは36～37ページ「**8** 適合オプションの組合せと取付位置について」を参照して、正しい組合せでご使用ください。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- 下記の項目に注意してください。

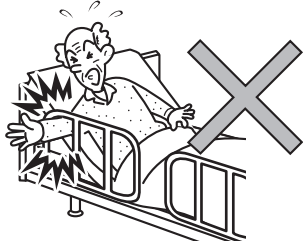
- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(高さ方向)
- ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(幅方向)
- ⑥ ボードとマットレスのすき間
- ⑦ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間

※図は一例です。



けい こく 警告

身体の一部がすき間に入った状態で、 ベッドの操作をしないでください

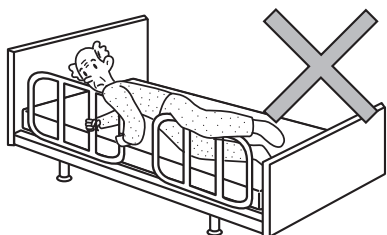


- はさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドと壁や周りのものとのすき間に 注意してください

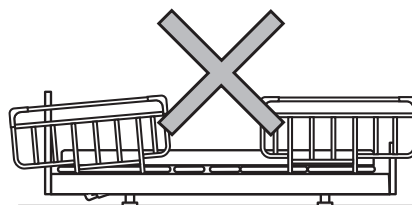
- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドサイドレール使用時もベッドから の転落に十分注意してください



- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドサイドレール・ベッド用グリップな どを取付けるときは、正しい向きで確実に 取付けてください



- ベッドから転落したり、発生した意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があり、けがをするおそれがあります。

ベッドのフレームとボトムの間などに 手(指)や足などを入れないでください

サイドフレームとボトムの間に、手(指)を入れた状態でボトムの端に座ると、はさまれてけがをするおそれがあります。

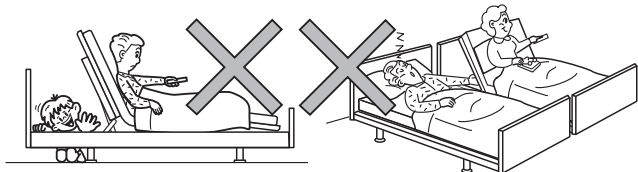
サイドフレームは用途にあわせ、正しい 位置で使用してください(特にオプショ ン取付穴を使用する場合)。また、サイ ドフレームの位置を調整するときは、手 (指)をはさまれないように注意してく ださい。

- 誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。(設定方法は48ページ参照)

2 安全に使用するための注意事項



ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください

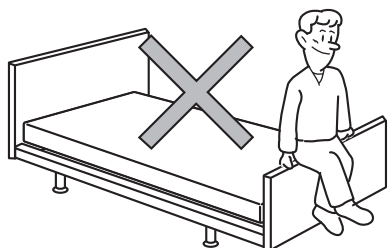


- ベッドの可動部とフレームやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをすることがあります。
- 2台のベッドを並べて使用する場合は、隣のベッドの動作にご注意ください。
- ベッド操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをすることがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをすることがあります。

ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形して、けがをすることがあります。

操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをすることがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン(すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン)をロック(操作禁止)する。(操作方法は28ページ参照)
 - 電源プラグを抜く。
- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタンをロック(操作禁止)している場合でも、設定のリセットを行うことにより、手元スイッチの設定はリセットされ、操作ボタンが有効(操作可能)の状態に戻ってしまいますのでご注意ください(30ページ参照)。意図せぬベッドの動作により、けがをすることがあります。

ボトム角度を調節するときは、ベッドをご使用の方の状態に注意してください

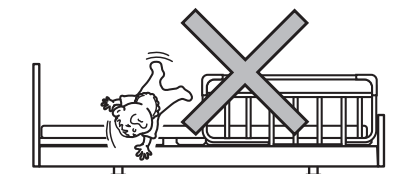
- ベッドをご使用の方がボトム角度調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをすることがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの角度に注意してください

万一のベッドからの転落や背あげ時の上体の倒れに備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてください。

けい こく
警告

乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

ベッドは正しい向き、姿勢で使用してください

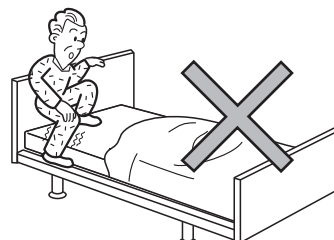


- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き(仰向け以外)で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください

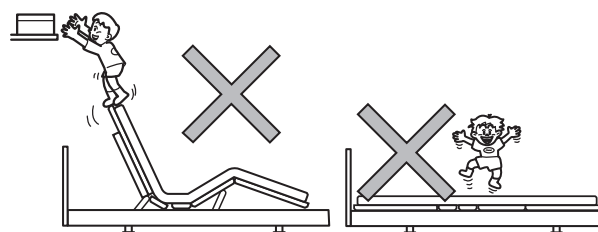
つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

サイドフレームやヘッドボード・フットボードを手すり代わりにしたり、足をかけて乗り降りしたりしないでください



- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- サイドフレームやヘッドボード・フットボードに大きな力がかかり、サイドパネルが外れるなどして、破損・変形するおそれがあります。

ベッドを踏み台代わりにしたり、ベッド上で飛び跳ねたりしないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

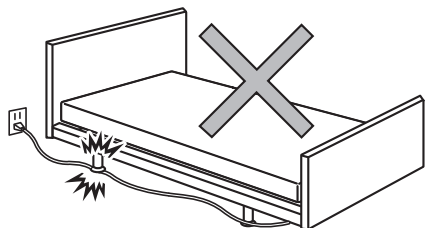
お客様による修理・改造はしないでください

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

2 安全に使用するための注意事項



コード類(電源コードなど)は正しく配線し、傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ベッドでコード類を踏みつけないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください

- 電源プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド、適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

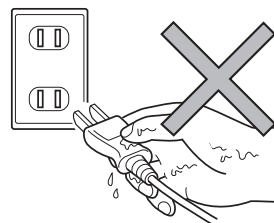
電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電したり、故障したりするおそれがあります。



電源プラグにほこりなどを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

電源プラグに無理な力を加えないでください

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引っ張るとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

警告

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に、水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合には、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはパラテクノコールセンター（59ページ参照）までご連絡ください。

■ ベッドは定期的に点検してください

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

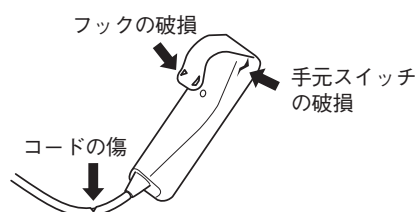
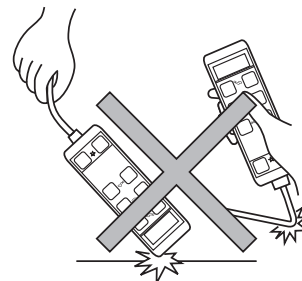
被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（59ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

ベッドをご使用の方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

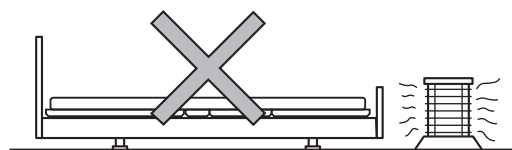
- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶついたり傷をつけたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

■ 火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

2 安全に使用するための注意事項

注意

■ 2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
 - ・ ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えないこと。
 - ・ ボトムがさがってフラットになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(59ページ参照)に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

■ あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

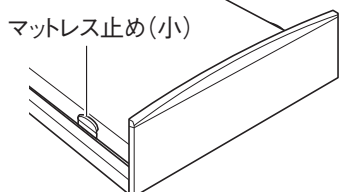
■ ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は1700N(174kgf)です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者の体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

■ 手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

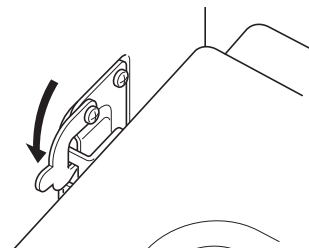
手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。

■ 移乗のときなどに、マットレス止め(小)に身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

■ ヘッドボード・フットボードはストッパーを掛けてください

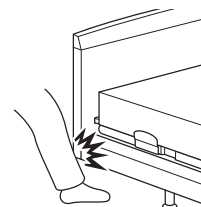


ボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す(引く)ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。(50ページ参照)

■ スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■ ベッドの角に注意してください



足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

■ ベッドに寄り掛からないでください

ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

■ ヘッドボード・フットボードに濡れたタオルなどを掛けしないでください

ヘッドボード・フットボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

■ ヘッドボード・フットボードに、加湿器などの蒸気を直接当てないでください

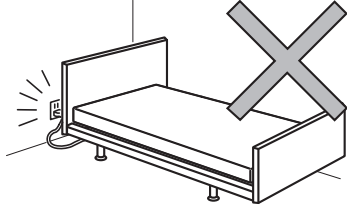
ヘッドボード・フットボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

3 設置についての注意事項

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

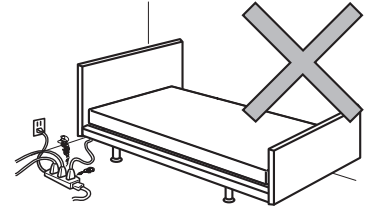
警告

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがををするおそれがあります。

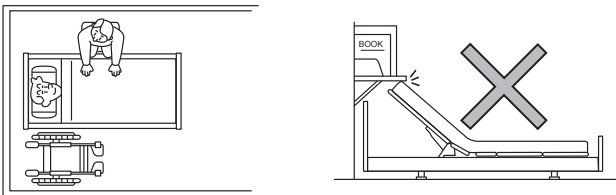
ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

注意

ベッド周辺のスペースを確保してください

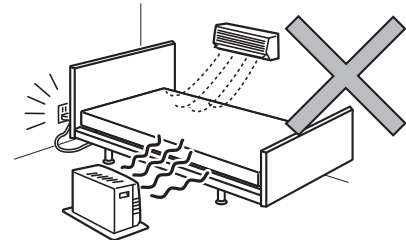


- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護環境で使用する場合、介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか(シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか)を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大76kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

故障の原因となるので、次のような場所への設置は避けてください



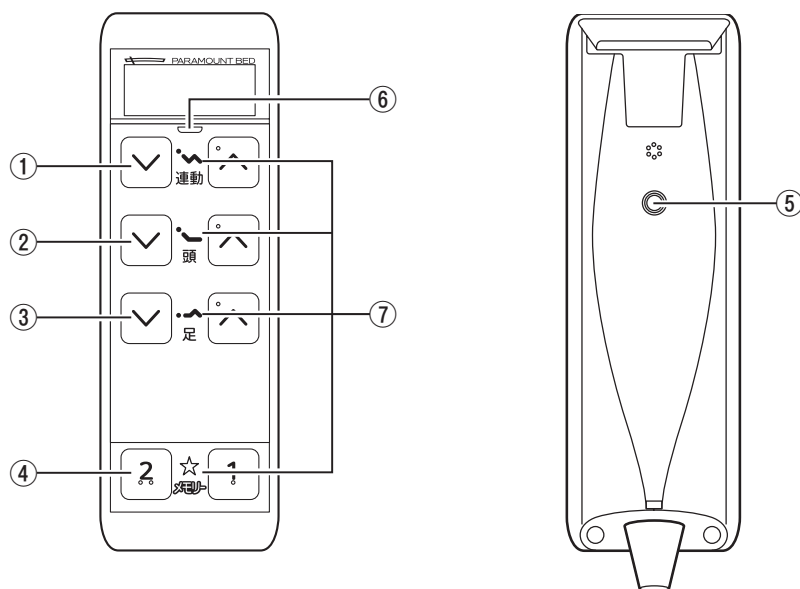
- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

4 ベッドの使用法

1. 手元スイッチの各部のなまえと働き

※手元スイッチに表示される数値（角度）は目安としてください。

おもて面ボタン



操作ボタン

- ①連動ボタン
「らくらくモーション」の調節
- ②頭ボタン
背ボトムの角度を調節
- ③足ボタン
膝ボトムを調節
- ④メモリーボタン
あらかじめ設定したメモリーポジションに向かって、背ボトム・膝ボトムの角度を調節

操作ボタンについて



- ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。
- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。
- 同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。



設定ボタン

- ⑤設定ボタン
設定ボタンを押すと、操作ボタンで、各種設定が変更できる

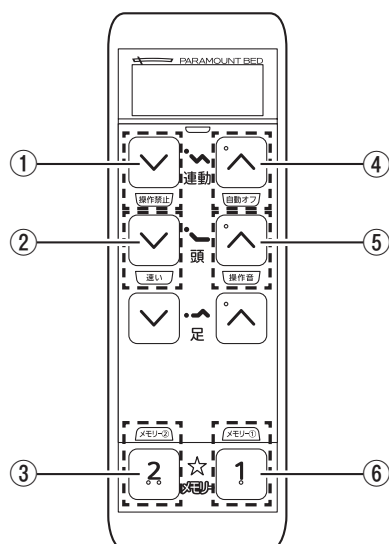
表示ランプ

- ⑥電源ランプ
ベッドの通電状態をお知らせ
点灯（緑）： 正常な通電状態
消 灯： 電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合
点滅（赤）： 断線や障害物との接触などの異常を表示
「10 故障かな?と思ったら」(39～40ページ)を参照して処置してください。
- ⑦操作選択ランプ
操作ボタンの「有効（操作可能）/ロック（操作禁止）」をお知らせ
点灯（白）： 操作が可能な状態
消 灯： 電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態
- 一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手につくなど揺れがあると自動で点灯します。



機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。



①操作禁止ボタン
[28 ページ]

④自動オフボタン
[27 ページ]

②速さ切換ボタン
[26 ページ]

⑤操作音ボタン
[27 ページ]

③メモリーボタン2
[29 ページ]

⑥メモリーボタン1
[29 ページ]

表示パネル



①角度/エラーコード

動作中の背ボトム・膝ボトム角度を数字で表示

※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。

背角度表示…0°～75°(0°～74°まで2°間隔で表示)

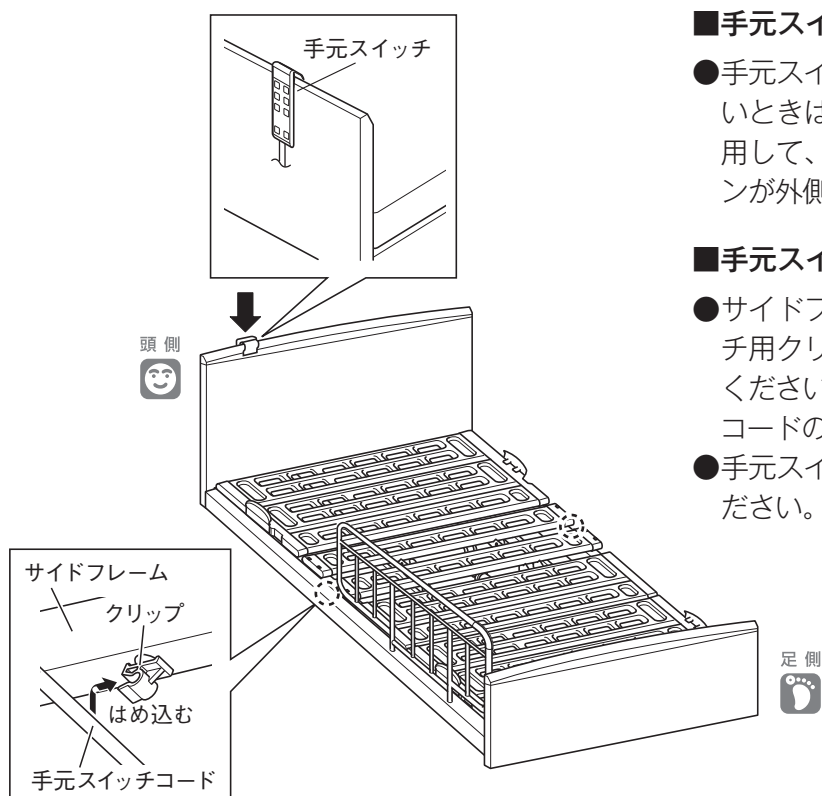
膝角度表示…0°～30°(0°～30°まで2°間隔で表示)

②操作禁止表示

押した操作ボタンがロック（操作禁止）
に設定されているときに点滅

4 ベッドの使用法

2. 手元スイッチの取付位置について



■手元スイッチを掛ける位置

●手元スイッチにはフックがついています。使用しないときは、操作ボタンに触れないようにフックを利用して、ボードもしくはサイドレールなどに、ボタンが外側に向くように掛けてください。

■手元スイッチ用クリップ

●サイドフレーム中央の左側・右側にある手元スイッチ用クリップに手元スイッチのコードをはめ込んでください。

コードの垂れ下がりを防ぐことができます。

●手元スイッチを使用する側のクリップを使用してください。

警告

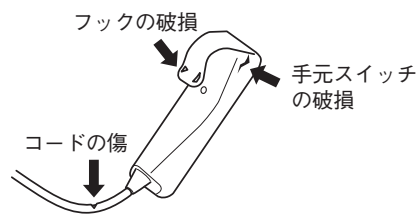
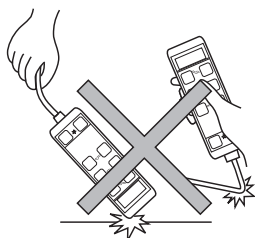
●手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。ベッド内側に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

●手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

●手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。

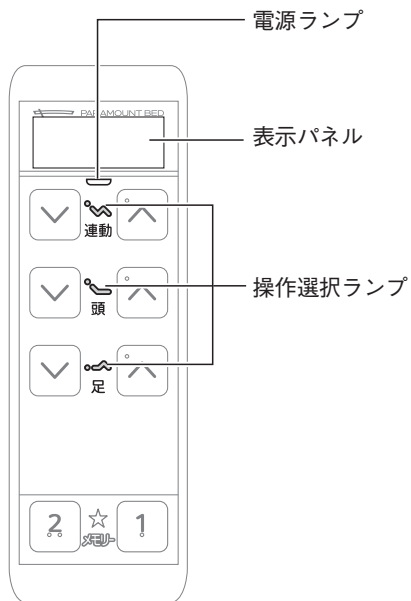
- ・ぶついたり、傷をついたりしないでください。
- ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。

●傷んだ手元スイッチは修理(交換)を依頼してください。






3. ベッド／手元スイッチの電源の入れかた

自動オフ設定が「無効」の場合



- 電源プラグをコンセントに差込んでください。
手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

自動オフ設定が「有効」の場合

- ①電源プラグをコンセントに差込んでください。
手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。
 - ②手元スイッチの操作ボタン（ / ）のいずれかを押ししてください。
操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。（電源ON状態）
※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。
-  ●電源プラグをコンセントに差込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができます。

4 ベッドの使用法

4. 背の動かし方

■背あげにはらくらくモーション（連動ボタン）と、背あげ（頭ボタン）の2種類があります。

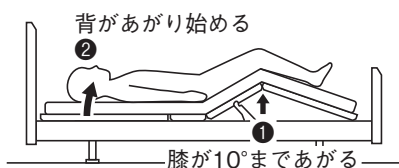
らくらくモーション（連動ボタン）操作のしかた

●連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背下げ」の操作をしてください。

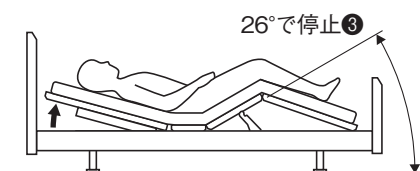
※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン()を押す]



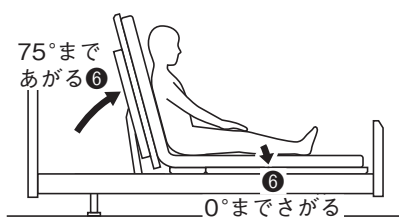
① 膝が先行して10°まであがると、背が連動してあがり始める。



② 膝が26°で停止する。背はそのまま動く。

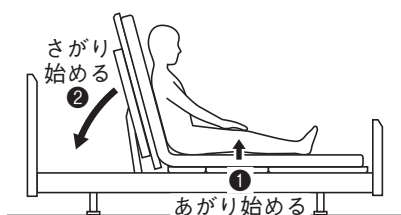


③ 背が40°まであがると、膝が連動してさがり始める。

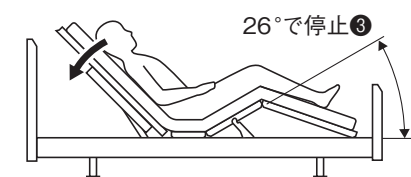


④ 背が75°まであがるのとほぼ同時に、膝が0°までさがる。

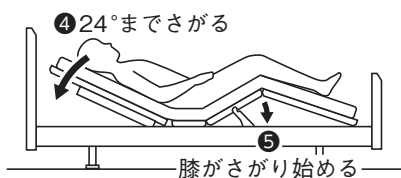
らくらくモーションによる背さげ操作
 [連動さげボタン()を押す]



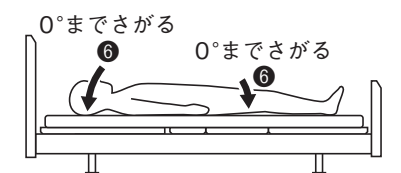
① 膝があがり始め、その後背がさがり始める。



② 膝が 26°で停止する。
背はそのまま動く。



③ 背が 24°までさがると、膝が連動してさがり始める。



④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

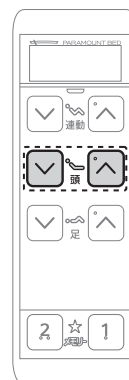
4 ベッドの使用方法

背あげ（頭ボタン）操作のしかた

- 頭ボタンで「背あげ（頭） / 背さげ（頭）」の操作をしてください。

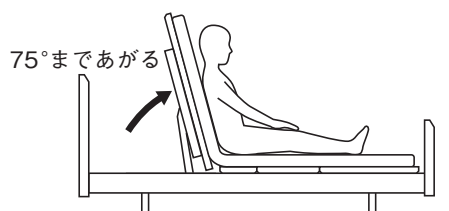
※背ボトムの角度を0°～75°まで調節できます。

動作範囲 背あげ(頭):0°～75°



背あげ(頭)操作

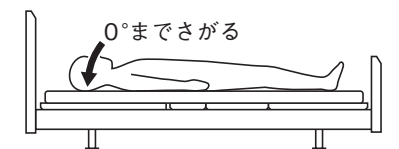
[頭あげボタン( )を押す]



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ(頭)操作

[頭さげボタン( )を押す]



- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

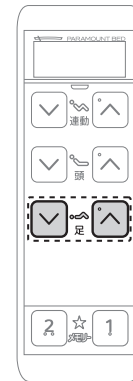
5. 膝の動かしかた

※膝ボトムを角度を0°～30°まで調節できます。

●足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

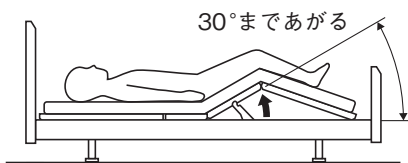
※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

動作範囲 膝あげ(足):0°～30°



膝あげ操作

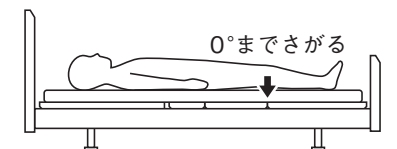
[足あげボタン(●)を押す]



- 膝が30°まであがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝さげ操作

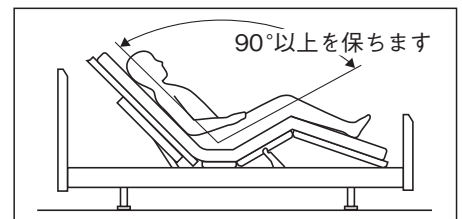
[足さげボタン(●)を押す]



- 膝が0°までさがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

■角度制限機能について

●胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムとの角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。背ボトム(膝ボトム)をあげていくと、背ボトムと膝ボトムの角度が常に90°以上になるように、膝ボトム(背ボトム)がさがります。



●安全のため、角度制限機能は解除できません。

●角度制限機能による、背ボトム・膝ボトムの自動動作は、頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも優先されます。

4 ベッドの使用方法

6.メモリーポジションへの動かしかた

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの「背(頭)」・「足(膝)」を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は29ページ参照)

●メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

メモリーポジション1への操作

[メモリーボタン1(①)を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
 - ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。
-

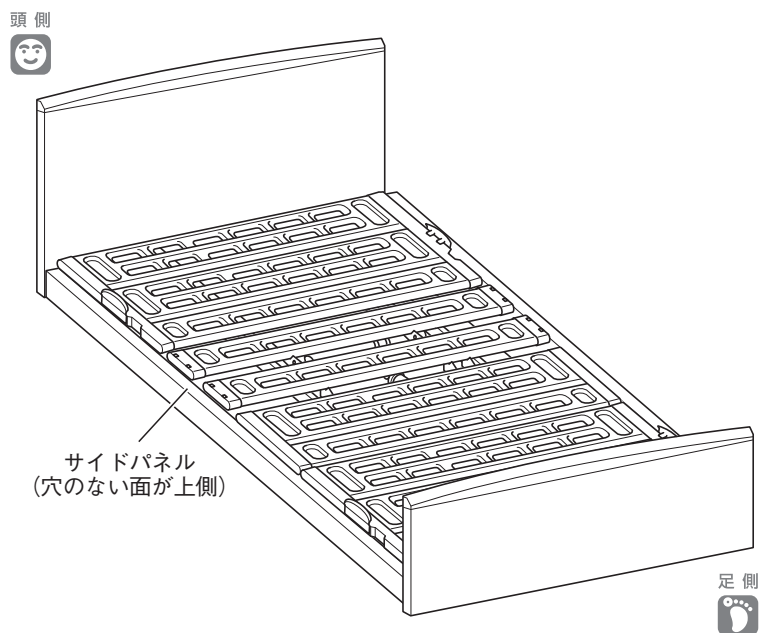
メモリーポジション2への操作

[メモリーボタン2(②)を押す]

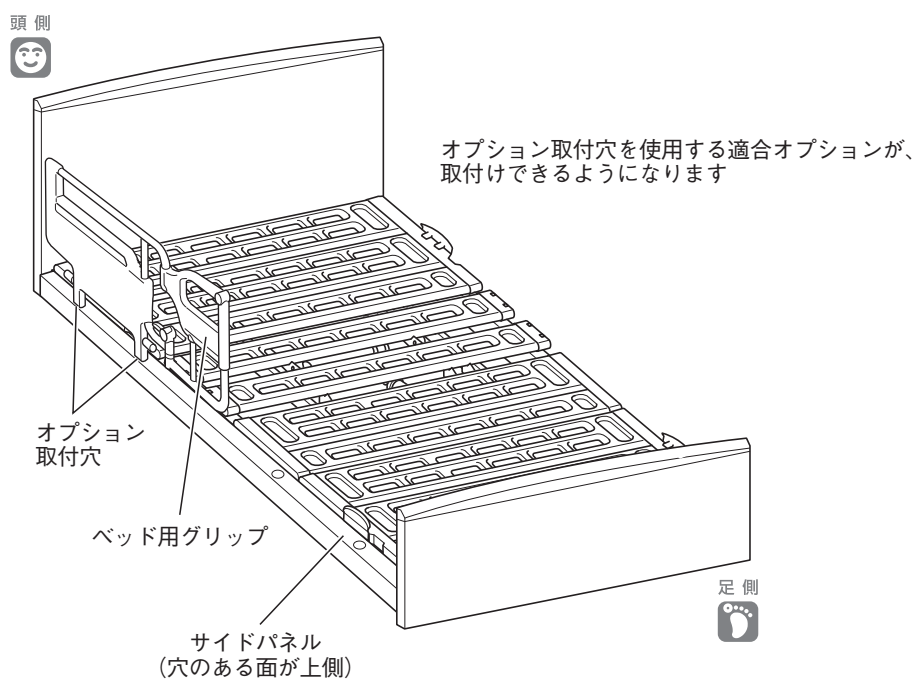
- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
 - ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。
-

7. サイドパネルについて

■サイドパネルの取付け向きを変えることによりオプション取付穴を使用することができ、適合するベッドサイドレール（別売）やベッド用グリップ（別売）を取付けることができます。サイドパネルの取付けについては51～52ページ、適合オプションについては32ページを参照してください。



サイドパネルをひっくり返して取付ける



5 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

■機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。



●操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

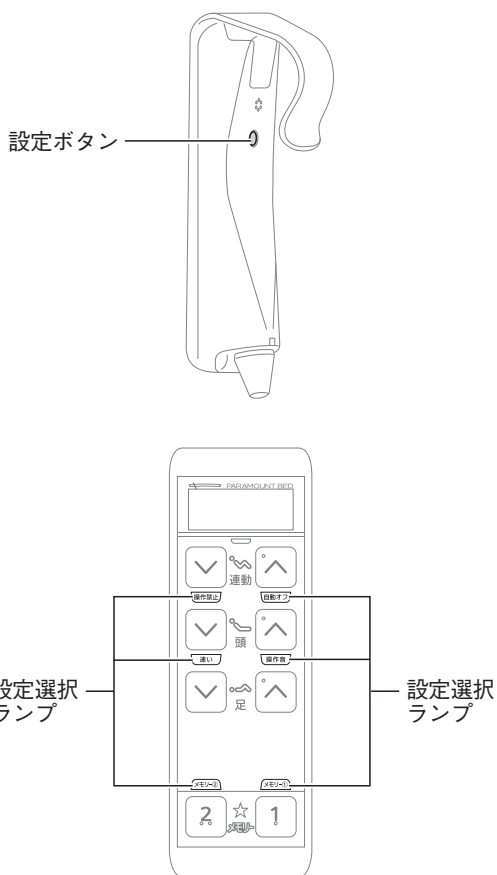
- ・操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は28ページ参照）
- ・電源プラグを抜く。

●設定ボタンは、ベッド動作中に操作しないでください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



●設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

1. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。



●設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

2. ベッドの各動作設定



- 設定モードへ切換えてから、設定を変更してください(25ページ参照)。
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

● ベッドの動作速度の設定

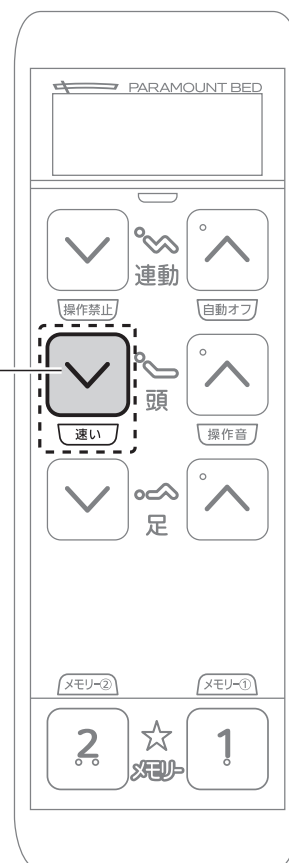
ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。「速い」は「普通」の1.3倍の速さで動作します。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い：普通

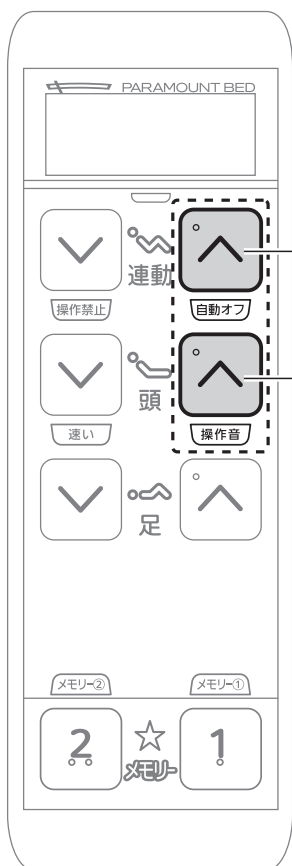
明るい：速い



けい 告
こく

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

5 手元スイッチによるベッドの設定のしかた



● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができるようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い：無効

明るい：有効

● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い：切

明るい：入



けい
警告
こく

●設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確認してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

3. 操作ボタンのロック（操作禁止）の設定

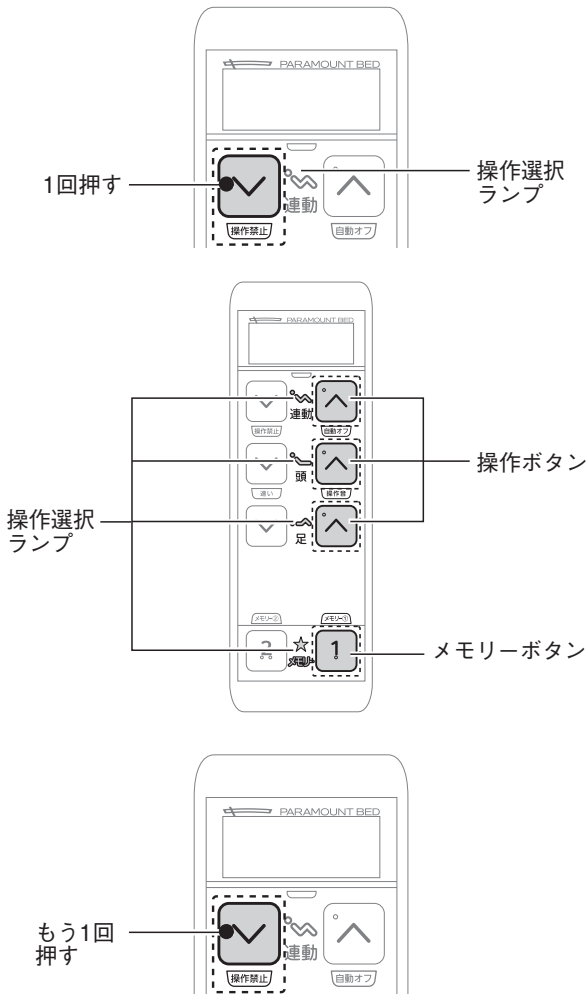


●設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。（25ページ参照）

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

設定のしかた



①操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック（操作禁止）されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

②操作禁止したい、または操作禁止を解除したい操作ボタンの ボタンを押してください。また、メモリーボタンを禁止にしたい場合はメモリーボタンの ボタンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切換わります。

禁止したい：点滅→消灯

解除したい：消灯→点滅

③操作禁止ボタンを、もう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

④設定ボタンを押してください。

設定が完了します。

⑤操作禁止にした操作ボタンを押し、ベッドが動作しないことを確認してください。



●頭・足ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足が動作する場合があります。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

●設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

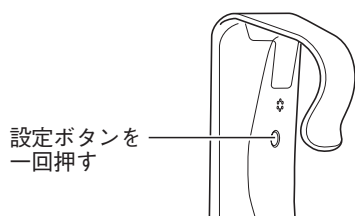
●操作禁止に設定している場合でも、設定の初期化を行うとすべての操作ボタンが操作可能な状態に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

5 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

4. メモリーポジションの設定

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録できます。

設定のしかた



メモリーボタン

① ボタン登録したいポジションまでベッドを動作させてください。

② 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

③ ポジションを登録したいメモリーボタン ① / ② を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。



● 初期設定に戻したい場合は、メモリーボタンを3秒以上長押ししてください。初期設定のポジションが仮登録されます。

④ 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



● メモリーポジションを再設定したい場合は、再度①～④を行ってください。



けい 告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



● 初期設定では、以下のポジションが登録されています。

メモリーポジション1 ① : 背 30° 膝 6°

メモリーポジション2 ② : 背 0° 膝 0°

5. 設定のリセット

ベッドの操作設定を初期状態に戻します。

手元スイッチ表面のいずれかの操作ボタン2ヶ所と裏面の設定ボタンの計3個のボタンを同時に3秒以上長押しすると、ベッドの操作設定を初期状態に戻すことができます。

初期状態

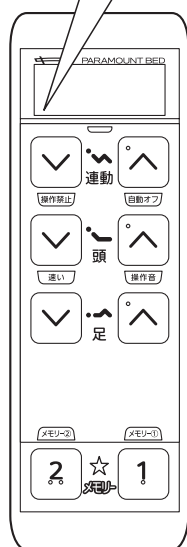
項目	状態
操作禁止	ロック解除 (すべての操作が可能)
動作速度	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー①	初期値 (背30° 膝6°)
メモリー②	初期値 (背0° 膝0°)



- 停電後や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択スイッチで設定した内容は取消されません。必要に応じて、設定のリセットをしてください。

6. 手元スイッチの交換お知らせ表示

手元スイッチの交換時期をお知らせします。

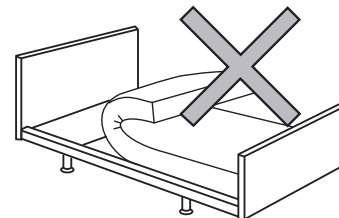


- 設定モードにした際、手元スイッチ上部の表示パネルにレンチマークが点灯しているときは、手元スイッチの交換時期であることを示しています。お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンター (59ページ参照) までご連絡ください。

6 マットレス(別売)の使用方法とご注意



- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのすき間や通気穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりする原因となります。
- マットレスを通常のご使用状態以上に折り曲げないでください。ベッドやサイドレールなどとのすき間が広がり、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。



適合マットレス

●スマートスリープマットレス

品名	品番	マットレスサイズ 幅×長さ (cm) [重さ]	厚さ (cm)
スマートスリープ アクア	MS-C200N	97×195 [17.5kg]	15.5
スマートスリープ ベーシック	シングル	97×195 [17kg]	15.5
スマートスリープ ライト	MS-C310N	97×195 [7kg]	9
スマートスリープ スタイルポート	シングル	97×195 [17kg]	15.5

※スマートスリープアクア・スマートスリープベーシック・スマートスリープスタイルポートとベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Qシリーズ (32ページ参照)・KS-019A・KS-098A・KS-096A/B/D・KS-030Aをご使用ください。

●介護用マットレス

※介護用マットレスを使用する際は、マットレス止め (小) をマットレス止め (3F07227100A/別売) に付替えてください。詳しくは販売店へお問い合わせください。

品名	品番	マットレスサイズ 幅×長さ (cm) [重さ]	厚さ (cm)
プレグラーマットレス	KE-557Q	99×191 [7.6kg]	8
ストレッチスリムマットレス	清拭タイプ	KE-777SQ	99×191 [6kg]
	通気タイプ	KE-777TQ	99×191 [5.5kg]
ストレッチフィットマットレス	清拭タイプ	KE-787SQ	99×191 [7kg]
	通気タイプ	KE-787TQ	99×191 [7kg]
ストレッチグライドマットレス	清拭タイプ	KE-797SQ	99×191 [10kg]
	通気タイプ	KE-797TQ	99×191 [9.5kg]
エバーフィットマットレス	清拭タイプ	KE-527QA	99×191 [10.8kg]
	通気タイプ	KE-577QA	99×191 [8.4kg]
ポケットコイルスプリングマットレス	KE-457	100×191 [21kg]	14



- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

7 適合オプションについて

■ここでは、ベッドに取付けて使用するオプションのみを記載しています。ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q → KS-161Qを示します。



●仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。



●オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。

●ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

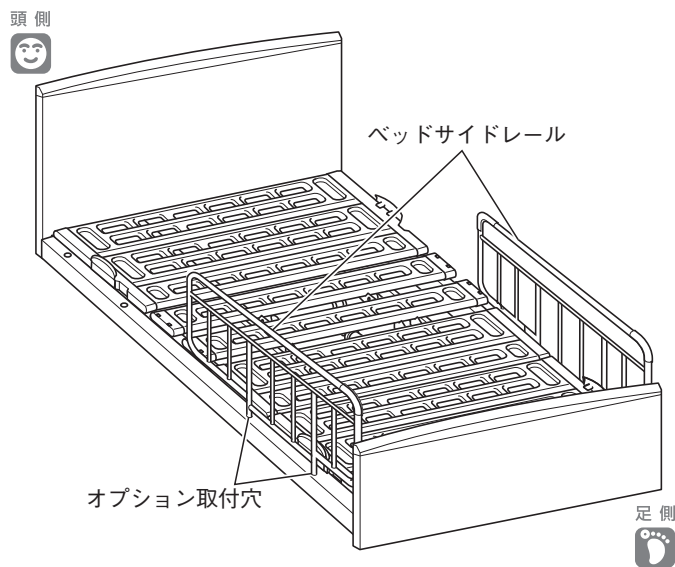
●オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

適合表

製品名		品番	参照ページ
ベッドサイドレール	KS-161Qシリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126B/C/M/W	33
	KS-171Qシリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146B/C/M/W	
	KS-191Qシリーズ	KS-191Q	
ソフトガードサイドレール	KS-019A	33	
ソフトカバー付ベッドサイドレール	KS-126BC/CC/MC/WC・KS-146BC/CC/MC/WC KS-161QC・KS-166QC KS-171QC・KS-176QC・KS-191QC	33	
クリアカバー付ベッドサイドレール	KS-126BT/CT/MT/WT・KS-146BT/CT/MT/WT KS-161QT・KS-166QT KS-171QT・KS-176QT・KS-191QT	33	
サクッとポケット付ベッドサイドレール	KS-161QAP/QBP/QCP KS-171QAP/QBP/QCP KS-191QAP/QBP/QCP	33	
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-098A・KS-096A/B/D	34
	サイドグリップ	KS-030A	34
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-098ACL・KS-096AC/BC/DC/ACL/BCL/DCL/ACS/BCS/DCS	34
	サイドグリップ	KS-030AC	34
サクッとポケット付ベッド用グリップ	KS-096AP	34	
キャスター	RA-05	34	
サイドサポート	KA-038A/B ※スマートスリープベーシック・スマートスリープアクア・スマートスリープスタイルポートには適合しません。 ※ストレッチフィットマットレス(清拭・通気)・ストレッチグライドマットレス(清拭・通気)・エバーフィットマットレス(清拭・通気)・ポケットコイルスプリングマットレスとの組合せの場合、サイドサポートの高さを高く設定してください。	35	
ハイトスペーサー	RA-06	35	
脚座ゴムシート	KQ-P732	35	
スマートハンドル	NN-2000	35	

7 適合オプションについて

1. ベッドサイドレール



ベッドサイドレール適合表

ベッドサイドレール	KS-161Q・KS-171Q・KS-191Q KS-126B/C/M/W・KS-146B/C/ M/W・KS-166・KS-176
ソフトガードサイドレール	KS-019A

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール (KS-019A) や各種カバーをお使いください。



- KS-191Qはベッド用グリップと組合せるもしくは、単独でベッドサイドに取付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並列で組合せたり、KS-191Qを2本並列で使用したりしないでください。詳しくは、36~37ページ「**8** 適合オプションの組合せと取付位置について」をご覧ください。

2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクっとポケット付ベッドサイドレール

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/MC/ WC	KS-126B/C/M/ W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/MC/ WC	KS-146B/C/M/ W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

- ソフトカバー付/クリアカバー付/サクっとポケット付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバー/サクっとポケットのセットです。
- ソフトカバー、クリアカバー、サクっとポケットのみでもお求めいただけます。

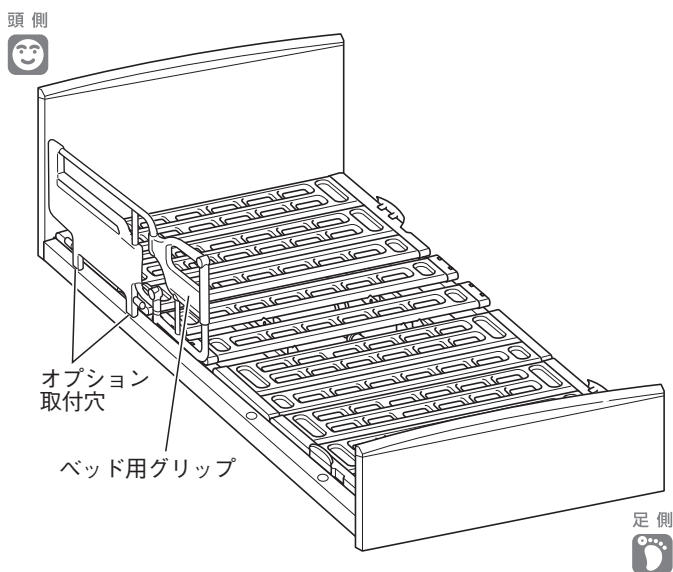
クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/MT/ WT	KS-126B/C/M/ W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/MT/ WT	KS-146B/C/M/ W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

サクっとポケット付ベッドサイドレール適合表

サクっとポケット付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	サクっとポケット
KS-161QAP	KS-161Q	KS-15P
KS-161QBP		KS-16P
KS-161QCP		KS-15P・KS-16P
KS-171QAP	KS-171Q	KS-15P
KS-171QBP		KS-16P
KS-171QCP		KS-15P・KS-16P
KS-191QAP	KS-191Q	KS-15P
KS-191QBP		KS-16P
KS-191QCP		KS-15P・KS-16P

3. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー／サイドグリップ)



- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドレール (KS-191Qシリーズ)、サイドグリップ (KS-030A) をお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトカバー (KS-96C/CL/CS) をお使いください。

ベッド用グリップ適合表

スイングアーム介助バー	KS-098A・KS-096A/B/D
サイドグリップ	KS-030A

※ベッド用グリップと同じ側で使用できるのは、サイドレール (KS-191Qシリーズ)、サイドグリップ (KS-030A) のみです。

4. ソフトカバー付/サクッとポケット付ベッド用グリップ

ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

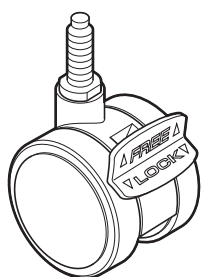
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-098ACL	KS-098A	KS-98CL
KS-096AC	KS-096A	KS-96C
KS-096ACL		KS-96CL
KS-096ACS		KS-96CS
KS-096BC	KS-096B	KS-96C
KS-096BCL		KS-96CL
KS-096BCS		KS-96CS
KS-096DC	KS-096D	KS-96C
KS-096DCL		KS-96CL
KS-096DCS		KS-96CS
KS-030AC		KS-030A

- ソフトカバー付/サクッとポケット付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバー/サクッとポケットのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- ソフトカバー、サクッとポケットのみでもお求めいただけます。

サクッとポケット付ベッド用グリップ適合表

サクッとポケット付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	サクッとポケット
KS-096AP	KS-096A	KS-96P

5. キャスター



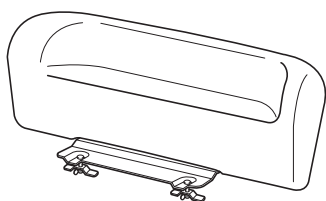
- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- ベッドの高さが6cm高くなります。

キャスター適合表

キャスター	RA-05
-------	-------

7 適合オプションについて

6. サイドサポート



ベッドの背ボトムを利用して、サイドサポートが使用できます。

サイドサポート適合表

サイドサポート (ボトム取付式)	KA-038A/B
------------------	-----------

※KA-037AR/BR、KA-037AL/BL (オプション取付穴差込式) は使用できません。

7. ハイトスペーサー

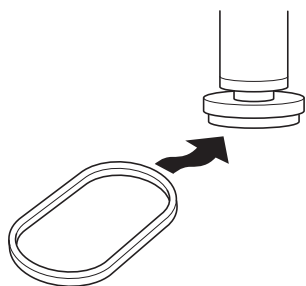


ハイトスペーサーを取付けることにより、ベッドの高さが10cm高くなります。

ハイトスペーサー適合表

ハイトスペーサー	RA-06
----------	-------

8. 脚座ゴムシート

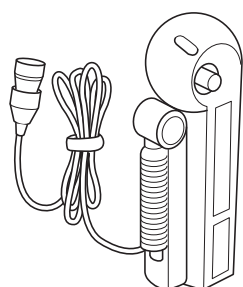


ベッド本体のすべり止めやアジャスターやキャスターによるゆか面への傷つき防止用に使用します。

脚座ゴムシート適合表

脚座ゴムシート	KQ-P732
---------	---------

9. スマートハンドル



災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、「背あげ/背下げ」「膝あげ/膝下げ」を行うことができます。

※ベッドの故障によっては、操作ができない場合があります。

スマートハンドル適合表

スマートハンドル	NN-2000
----------	---------

8 適合オプションの組合せと取付位置について

■適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



- 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

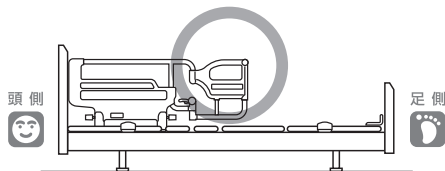


けい 告

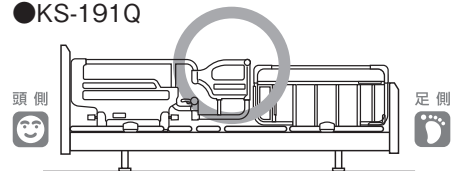
●ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

1. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー / サイドグリップ) を使用する場合 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

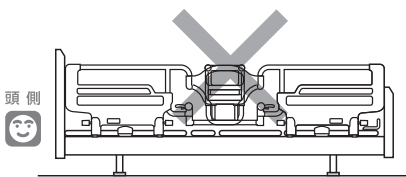
- KS-098A
- KS-096A/B/D



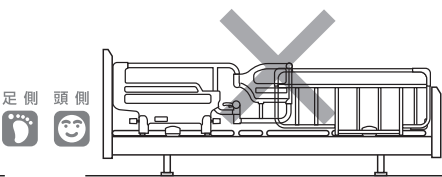
- KS-098A
- KS-096A/B/D
- +
- KS-191Q



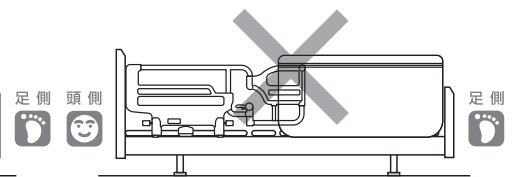
- KS-098A
- KS-096A/B/D
- +
- KS-098A
- KS-096A/B/D



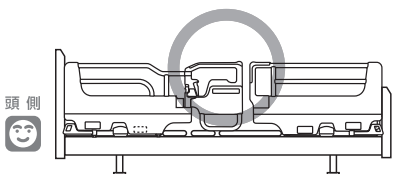
- KS-098A
- KS-096A/B/D
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ



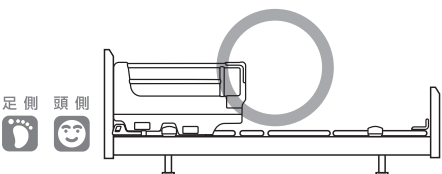
- KS-098A
- KS-096A/B/D
- +
- KS-019A



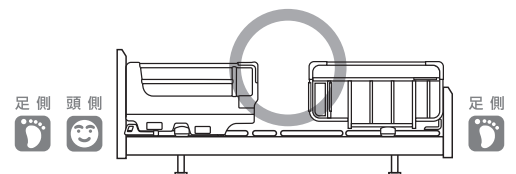
- KS-098A
- KS-096A/B/D
- +
- KS-030A



- KS-030A



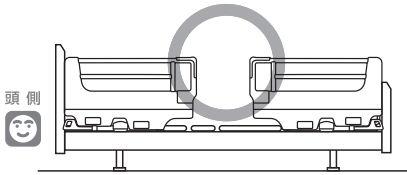
- KS-030A
- +
- KS-191Q



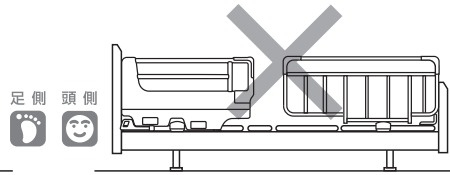
↓ 次ページに続く

8 適合オプションの組合せと取付位置について

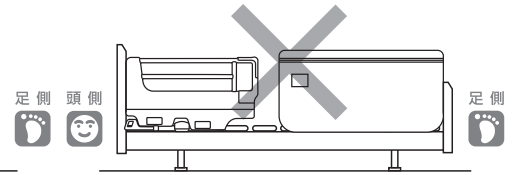
●KS-030A
+
●KS-030A



●KS-030A
+
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ



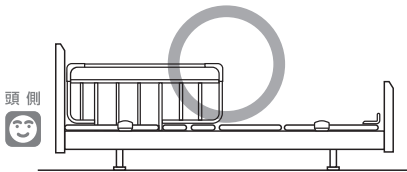
●KS-030A
+
●KS-019A



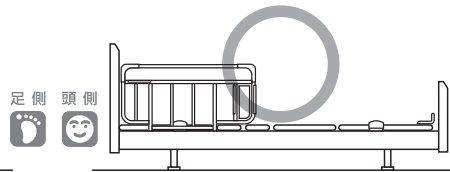
2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

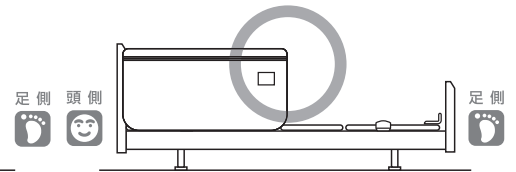
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ



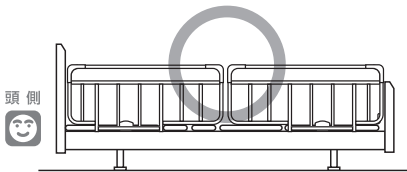
●KS-191Q



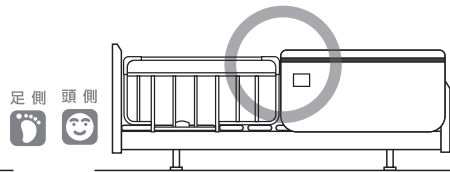
●KS-019A



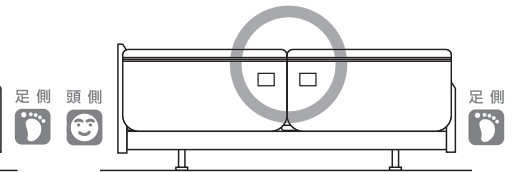
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ
+
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ



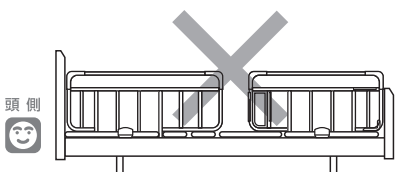
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ
+
●KS-019A



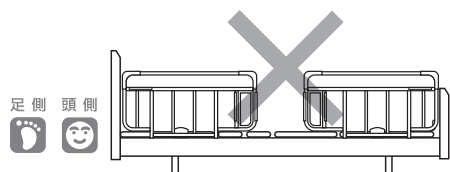
●KS-019A
+
●KS-019A



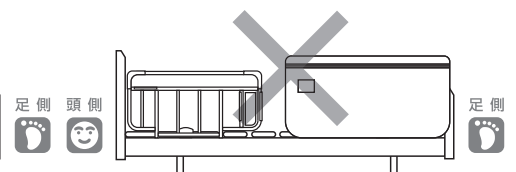
●KS-191Q
+
●KS-161Qシリーズ
●KS-171Qシリーズ



●KS-191Q
+
●KS-191Q



●KS-191Q
+
●KS-019A



9 定期点検と日常のお手入れ

1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、52～54ページ「**16** 組立後の点検」をご覧ください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター（59ページ参照）までお問い合わせください。

2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。



- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。



- お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

ベッド本体の汚れの落としかた

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	0.05～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	0.05～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	0.02～0.05%



- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。



- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。



オプションのお手入れについて


各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

マットレスのお手入れについて

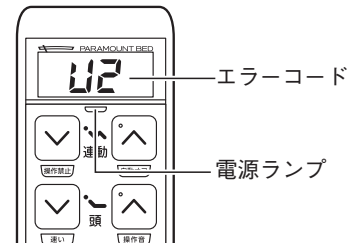
マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

10 故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、パラテクノコールセンター（59ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（41～43ページ参照）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。


警 告

●地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（59ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。



状態（症状）	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処 置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	—
		—	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	—
		—	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか？	手元スイッチのコネクターをコントロールボックスに差込んでください。	40
	緑で点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。	28
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	18
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅（1秒ごと）	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。	—
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてから操作を行ってください。	—
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチのコネクターを抜いて、差直してください。	40
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	—
		U3	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
U4	—	連続運転しましたか？（アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります）	20～45分間放置してください。（放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます）	—	

状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U5	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差直してください。	40
	常時、赤で速い点滅 (0.2秒ごと)	H1 ~ H9	動作が停止した状態で、長い間 (30秒以上) ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	—
			—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	—	頭 (足) の  ボタンを押したときに膝 (背) がさがりませんか?	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	—
			アクチュエーターが正しく配線されていますか?	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	40
各ポジションが正常にとれない	—	—	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてください。	—
ベッドの移動ができない (キャスター取付時のみ)	—	—	キャスターがロックされていますか?	キャスターのロックを解除してください。	—
ボードが外れない	—	—	ボードストッパーが固定されていますか?	ボードストッパーの固定を解除してください。	55

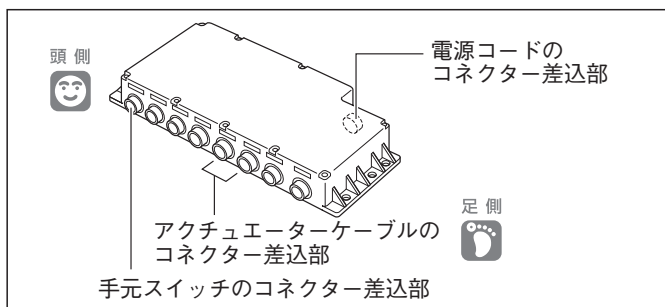
※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル (45・46ページ参照) に表示された番号もあわせてご連絡ください。

■各コネクターの差しかた／抜きかた

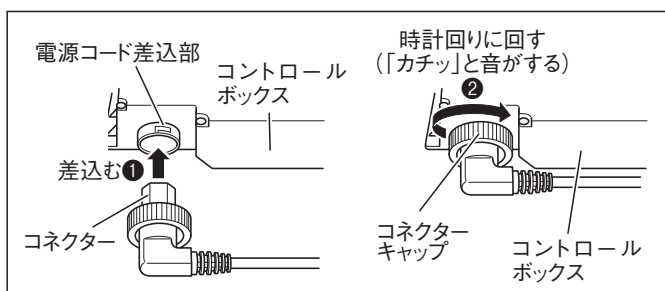


●コネクターを抜く場合は、下記と逆の手順で行ってください

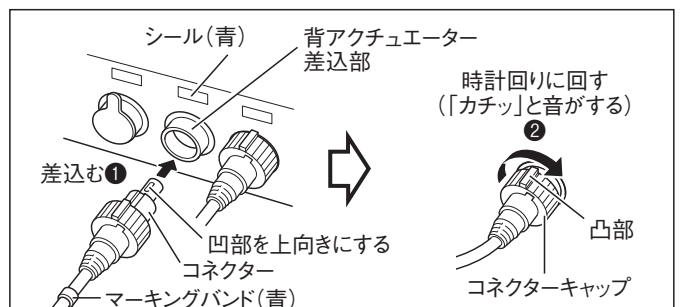
【コネクター差込部の位置】



【電源コードの場合】



【アクチュエーター・手元スイッチの場合】



※図は背アクチュエーターケーブルのコネクターを差込む場合を表しています。他のコネクターを差込む場合は、下の★印を参考して対応する差込部に差込んでください。

★コネクターキャップのマーキングバンドおよびコントロールボックスの差込部シールの色は以下に記載の通りです。

- ・背アクチュエーター：青 (背)
- ・膝アクチュエーター：黄 (膝/識別プラグ)
- ・手元スイッチ：黒 (スイッチ1) *マーキングバンドなし

※下記コネクターは使用しません

- ・高さアクチュエーターケーブルのコネクター緑 (高さ (頭側))
- ・高さアクチュエーターケーブルのコネクター白 (高さ (足側))
- ・スマートハンドルのコネクター赤

11 緊急時のベッド操作のしかた

■災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



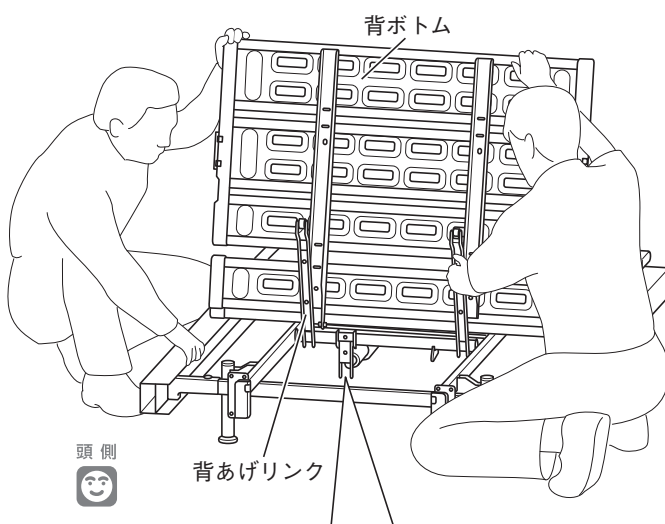
●停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「10 故障かな?と思ったら」(39~40ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(59ページ参照)までご連絡ください。



●手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた



使用する工具

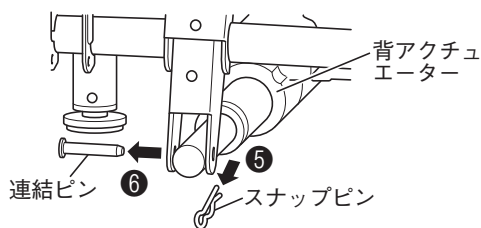
ペンチ・プライヤー (小)・ドライバー

- ①ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ②ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ヘッドボードを取外してください。(55ページ参照)
- ④背ボトムと背あげリンクを支えてください。



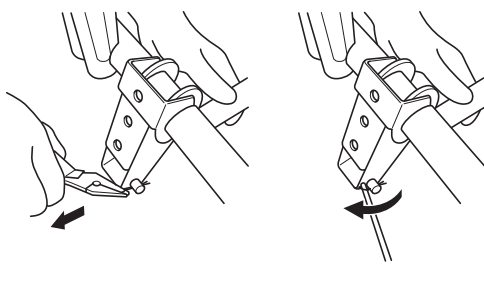
●手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

- ⑤背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピンを取外してください。
- ⑥連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すると、背あげリンクが自由に動くようになります。

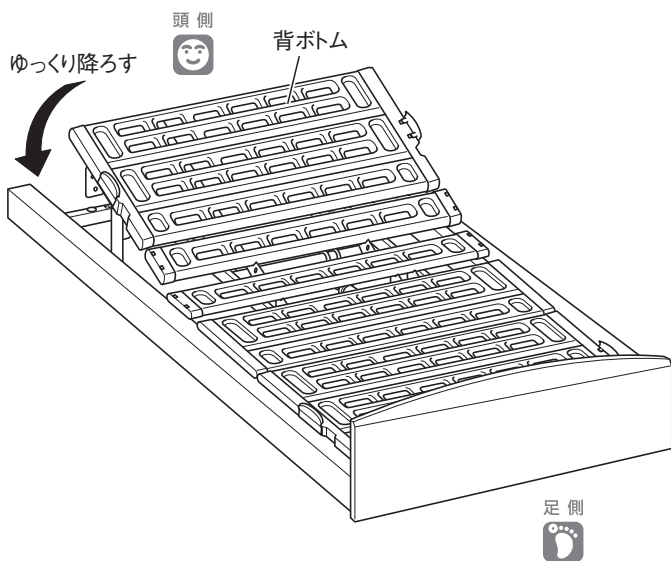


スナップピン (Rピン) の抜きかた

●ペンチ・プライヤー (小) ではさんで引っ張るか、ドライバーの先で引っ掛けて取外してください。



●取外した連結ピンとスナップピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



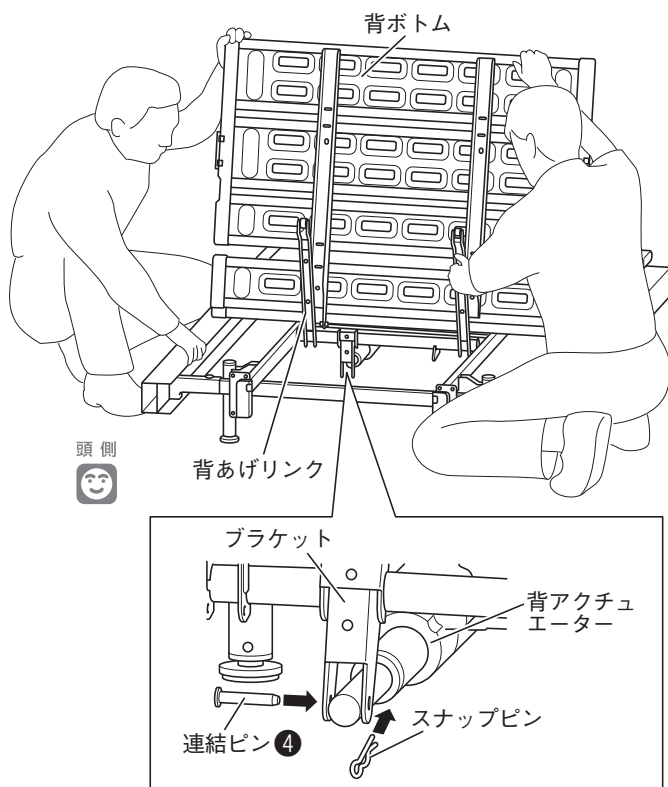
⑦背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。

⑧ヘッドボードを取付けてください。
(50ページ参照)



●この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

戻しかた



停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「16 組立後の点検」(52~54ページ参照)に従って点検を行ってください。

①ベッドをご使用の方にベッドから降りいただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

②ヘッドボードを取外してください。
(55ページ参照)

③背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。

④背アクチュエーターを持ち、背アクチュエーターの先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピンで固定してください。



●連結ピンとスナップピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

⑤ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⑥手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。

⑦ヘッドボードを取付けてください。
(50ページ参照)

11 緊急時のベッド操作のしかた

2. スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について

■スマートハンドル (NN-2000 : 別売) で、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」の操作を行うことができます。
※ベッドの故障によっては、操作ができない場合があります。



●詳細な取扱いは、スマートハンドルに添付されている取扱説明書をご覧ください。

12 長期間使用しない場合と移動(移設)について

長期間使用しない場合



●お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合を未然に防止するため、ベッドの電源プラグは、コンセントから抜いてください。

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度-10~50℃、湿度30~90% RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。
※使用を再開される場合は、52~54ページの手順に従って点検を行ってください。

移動(移設)



●ボトムやボード、サイドフレームを持って移動すると、ベッドが落下し、けがをするおそれがあります。ベッドは分解してから移動してください。

- ベッドの分解、組立ては販売店にご依頼ください。

		品名	INTIME TRUST	
		品番	RS-2200D	RS-2200M
		色	ダーク	ミディアム
		寸法 (cm)	110 (全幅)×206(全長)×69(全高)	
		床高 (cm)	25 (ゆか～ボトム上面まで)	
		製品質量 (kg)	76	
		電源コード長さ (cm)	有効長さ 350	
ベッド本体	主な材質	ボトム	スチール製…電着・紛体塗装仕上げ (一部樹脂成型品)	
		中床	スチール製…電着・紛体塗装仕上げ (一部樹脂成型品)	
		サイドフレーム	スチール製…電着・紛体塗装仕上げ	
		ボード	メルクシーパイン集成材、パーティクルボード、MDF、オレフィン系シート	
		サイドパネル	PVC (ポリ塩化ビニル)、オレフィン系シート	
		最大利用者体重	138kg	
		安全動作荷重※1	1700N (174kgf)	
		最大マットレス厚 (cm)※2	14 (15.5)	
動作保証条件	温度/湿度	10～40℃ / 30～75%RH		
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0～75[+7.5°, -5°] / 27秒 (普通)・20秒 (速い)		
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0～30±3° / 13秒 (普通)・10秒 (速い)		
		耐用期間	8年[自己認証 (当社データ) による]※ただし消耗部品は除く	

電装品	モーター数	2モーター	
	型式	リニアアクチュエーター (DCモーター)	
	電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz	
	消費電力	背あげ:120W以下 膝あげ:75W以下 らくらくモーション:170W以下	
	待機電力	2.5W以下	
	最大連続使用時間	5分 (休止時間※3 45分)	
	手元スイッチ	8ボタン (表示パネル付)	

※1) 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※2) ベッドサイドレール (KS-161Qシリーズ・191Qシリーズ) 使用時に適合する弊社製最大マットレス厚。

() 寸法は、ベッドサイドレール (KS-171Qシリーズ・KS-019A)、ベッド用グリップ使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-161Qシリーズ・191Qシリーズ、KS-171Qシリーズにつきましては、32ページの「適合表」を参照してください。

※3) ベッドを最大連続使用時間 (5分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間

14 梱包部品の確認

梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。



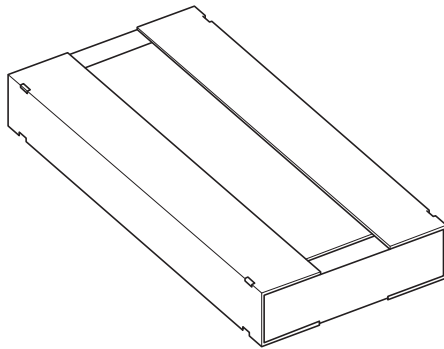
- ベッドを組立てたり、移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、ユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

① 本体

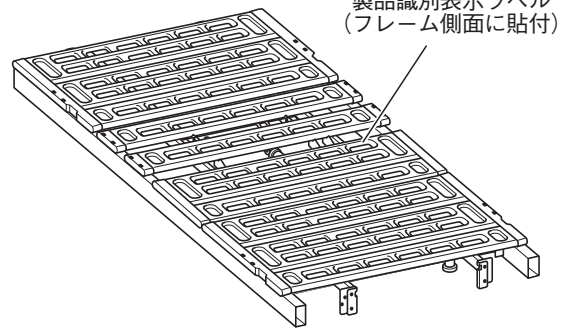
S2200A

60.0kg (71.0kg)



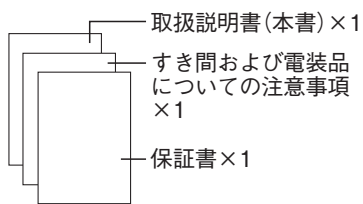
207×101×28(cm)

ベッド本体



製品識別表示ラベル
(フレーム側面に貼付)

付属品



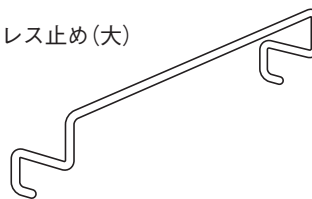
取扱説明書(本書)×1

すき間および電装品
についての注意事項
×1

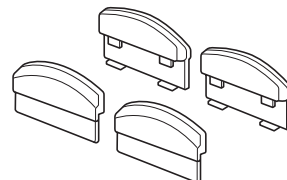
保証書×1

組立付属部品

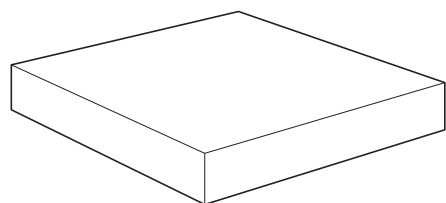
マットレス止め(大)



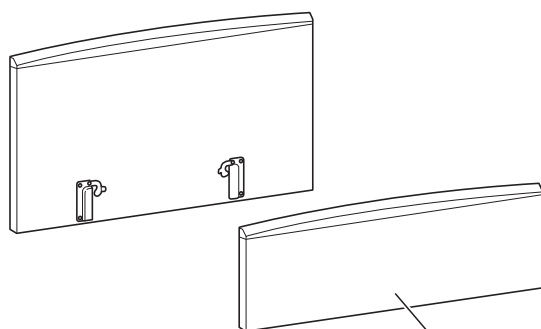
マットレス止め(小)×4



②ボードセット
S2000DB, S2000MB
13.0kg (15.5kg)

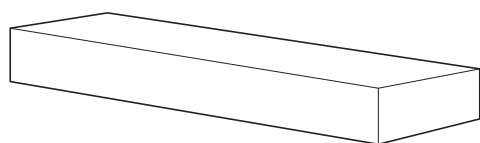


119×68×11 (cm)

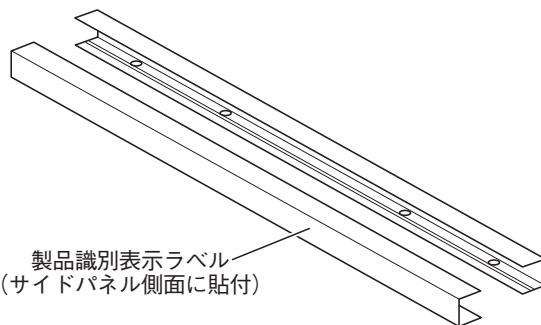


製品識別表示ラベル(裏面)

③サイドパネルセット
S2000DS, S2000MS
2.2kg (3.0kg)



203.5×11.0×10.5 (cm)



製品識別表示ラベル
(サイドパネル側面に貼付)

15 ベッドの組立方法

●ベッドの組立ては必ず販売店にご依頼ください。



警告

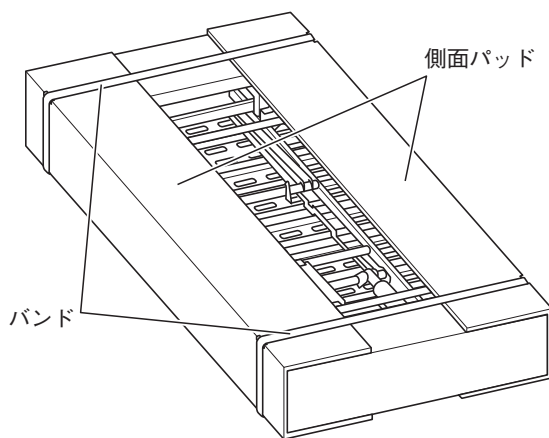
●組立作業は2人以上で行ってください。ベッドを持ち上げる作業でバランスが崩れけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。



注意

●組立作業は、ベッドの近くに壁やものがない場所で行ってください。ベッドが壁やものなどに当たり、破損するおそれがあります。

1. 本体の設置



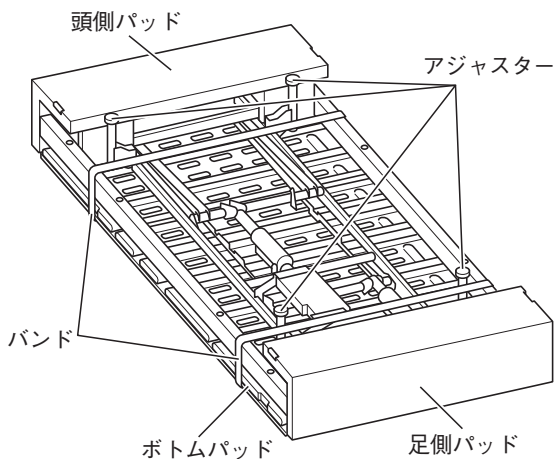
① 梱包された本体を裏返した状態でゆかに置いてください。

② 左図のバンドを取外し、側面パッドを取外してください。（左右2ヶ所）



●キャスター（RA-05）、ハイトスペーサー（RA-06）を取付ける際は、この段階で取付けてください。

●取付けは、キャスター、ハイトスペーサーの取扱説明書に従って正しく取付けてください。



③ アジャスターがしっかり締まっているか確認してください。ゆるみがある場合はアジャスターを時計回りに回転させ、しっかりと締めてください。（4ヶ所）

④ 頭側パッド・足側パッドを取外してください。

⑤ ①で裏返した本体を元に戻してください。

⑥ 左図のバンドを取外し、ボトムパッドとポリ袋を取外してください。

注意

●ベッドを元に戻してからバンドを取外してください。ボトムがバタつき、思わぬけがをするおそれがあります。

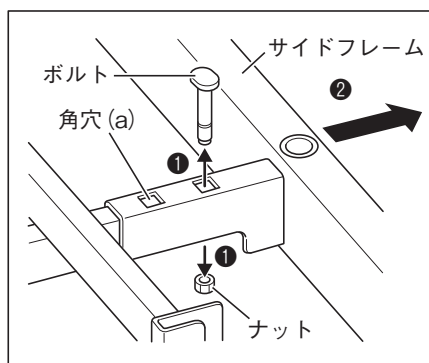


●ベッドを裏返してゆかに置く際に、ゆかを傷つけないように注意してください。

●ベッドを裏返す際は2人以上で行ってください。

2. サイドフレームの引出し

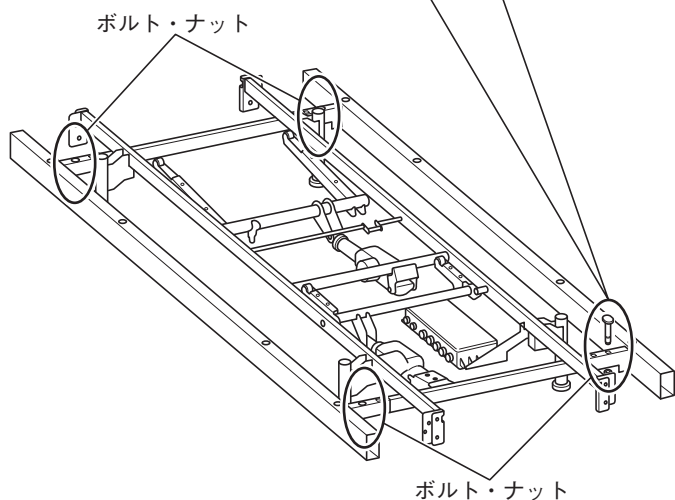
※わかりやすくするために、ボトムを外した状態で説明しています。



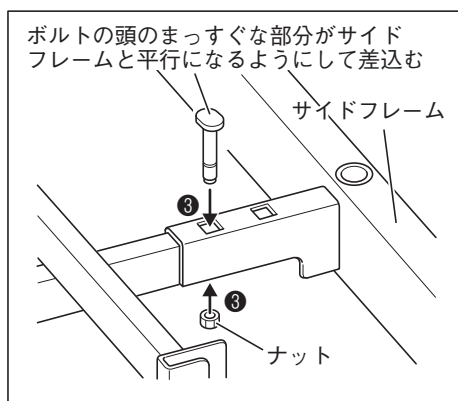
- ① サイドフレームを固定しているナットをスパナ（対辺17mm）でゆるめ、ボルトとナットを取外してください。（頭側・足側2ヶ所）



- ボルトとナットを取外しはサイドフレームを支えながら片方ずつ行ってください。サイドフレームが落下し、けがをするおそれがあります。

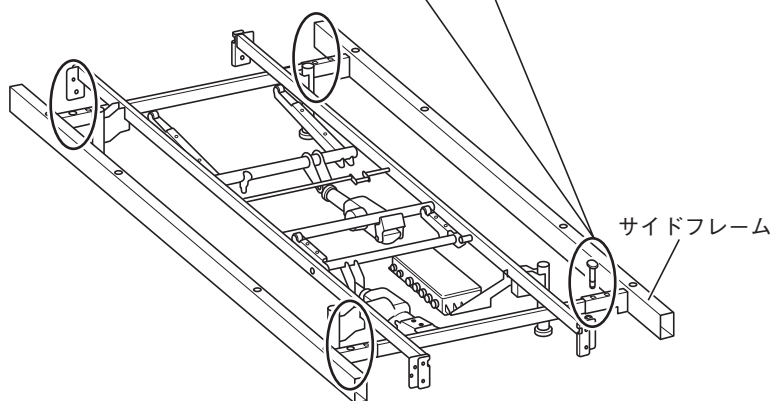


- ② サイドフレームを手前に引き出し、サイドフレームの角穴(a)とベッド本体の角穴をあわせてください。



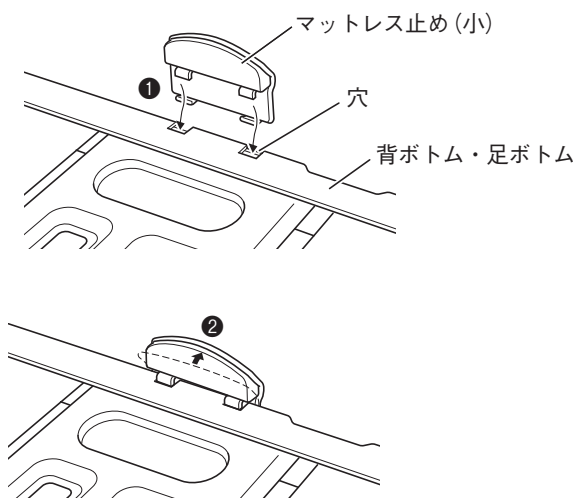
- ③ ①で取外したボルトを左図を参照し、ボルトの頭の向きに注意して角穴(a)に差込み、サイドフレームを手前に引きながらナットをスパナ（対辺17mm）でしっかりと締付けてください。（頭側・足側2ヶ所）

- ④ ①～③の作業を反対側のサイドフレームに対しても行ってください。



15 ベッドの組立方法

3. マットレス止めの取付け



マットレス止め (小) の取付け

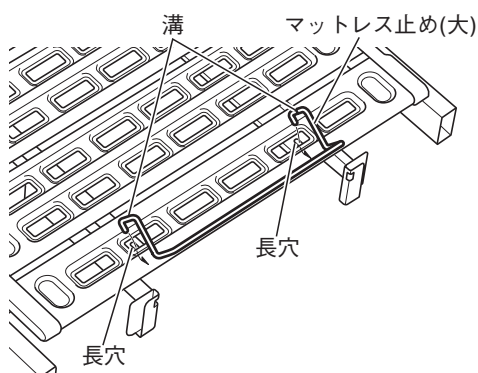
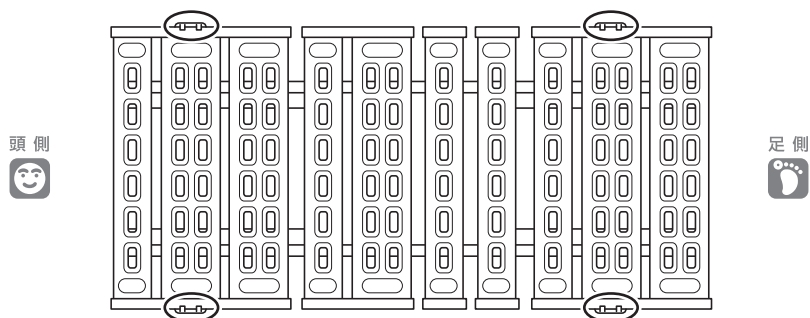
【取付方法】

- ① マットレス止め (小) を背ボトム、足ボトム両端の穴に斜めに差込んでください。(背ボトム・足ボトム左右各1ヶ所)
- ② マットレス止め (小) を「カチッ」と音がするまで起こしてください。



- マットレス止め (小) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。
- 介護用マットレスを使用する際は、マットレス止め (3F07227100A/別売) を取付けてください。詳しくは販売店へお問い合わせください。

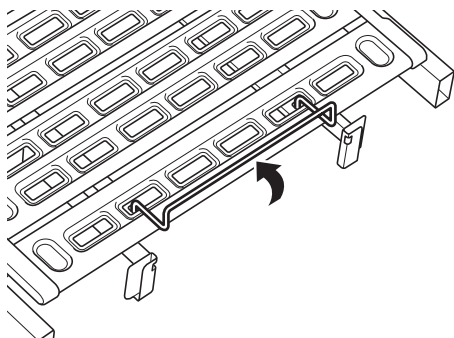
■ マットレス止め (小) 取付位置



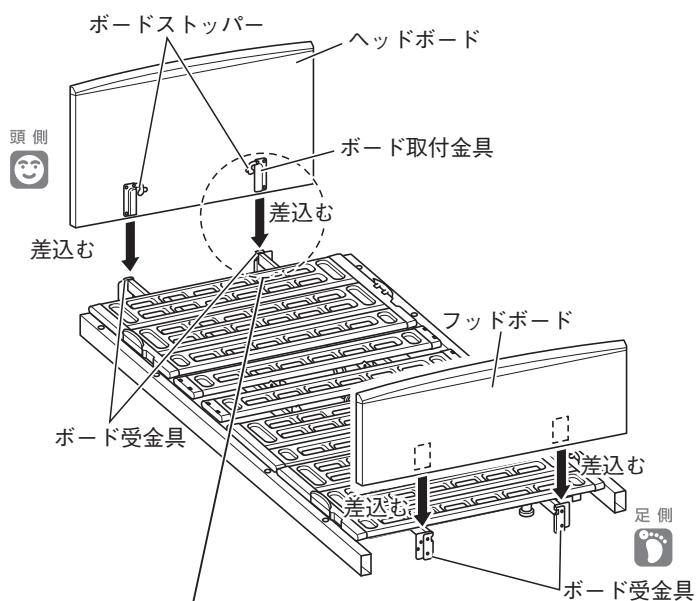
マットレス止め (大) の取付け

【取付方法】

- ① マットレス止め (大) を内側に押しながら先端を足ボトムの長穴に差込んでください。
- ② マットレス止め (大) を矢印方向に起こし、溝が足ボトムの長穴に引っ掛かるまで押し込んでください。



4. ヘッドボード・フットボードの取付け



ヘッドボードの取付け

- ① ヘッドボードのボード取付金具を、ベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差込んでください。
- ② ヘッドボードのボードストッパーを、ボード受金具の穴に差込んでください。(固定)



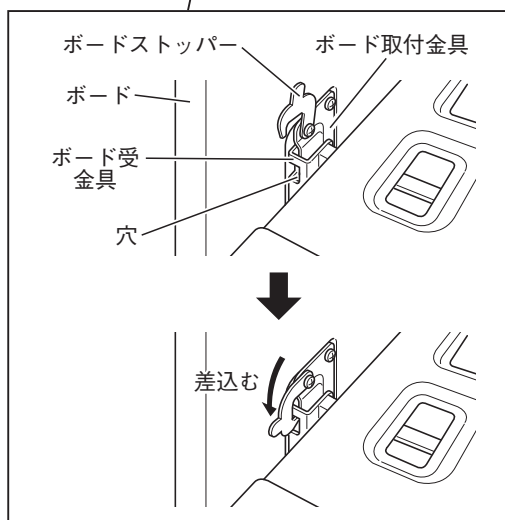
- ボードストッパーがボード受金具の穴に、確実に掛かっていることを確認してください。

フットボードの取付け

[ヘッドボードの取付け]と同じ要領で取付けてください。



- ボードストッパーがボード受金具の穴に、確実に掛かっていることを確認してください。



注意

- ボードストッパーを掛け忘れて、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。ボードが不意に外れて、けがをするおそれがあります。
- ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

15 ベッドの組立方法

5. サイドパネルの取付け



けい 告
警告

●サイドパネルは確実に取付けてください。サイドパネルが確実に取付いていない状態で使用すると、思わぬけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。



ちゅう い
注意

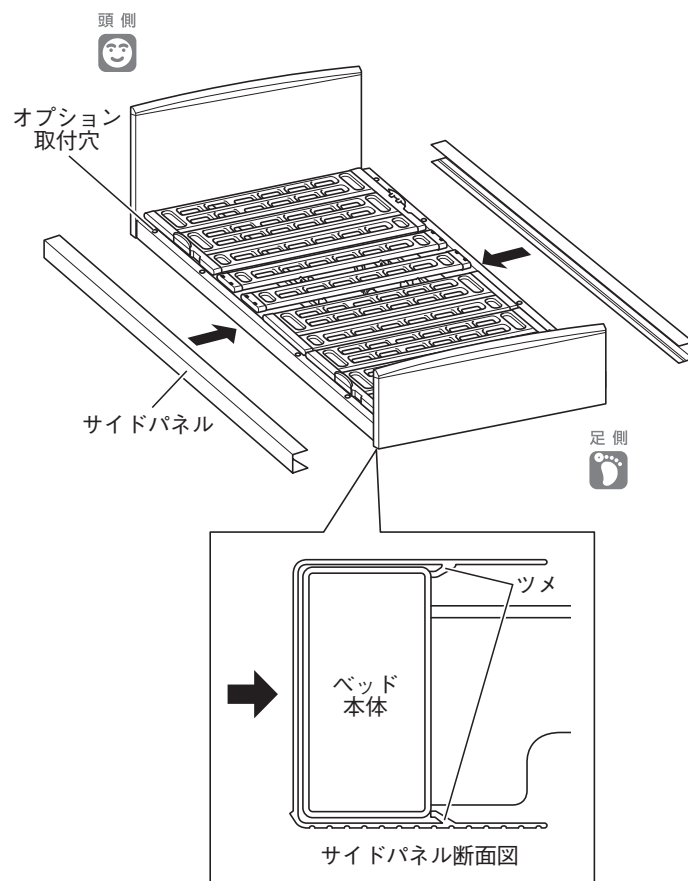
●一度取付けたサイドパネルを取外す場合は十分注意して行ってください。無理に取外そうとすると、破損したり外れやすくなったりします。取外しの際は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（59ページ参照）に依頼することをおすすめします。



●サイドフレームが引き出されていない状態ですと、適合オプションを使用することができません。「2.サイドフレームの引出し」（48ページ）を参照して、サイドフレームを引き出してください。

■サイドパネルの取付けは確実に行ってください。

○オプション取付穴を使用しない場合



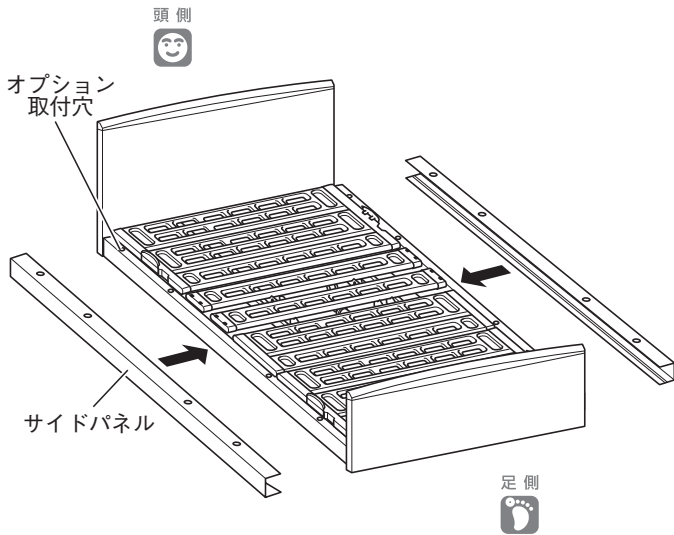
【取付方法】

- ①サイドパネルの穴のない面を上側にして、サイドパネルの位置をサイドフレームに合うようあわせてください。
- ②サイドパネルのツメがベッド本体に引っ掛かるまで、サイドパネルを押し込んでください。



●サイドパネルを取付ける際に、ボードを傷つけないように注意してください。

○オプション取付穴を使用する場合



【取付方法】

- ① サイドパネルの穴のある面を上側にして、サイドパネルの位置をサイドフレームに合うようにあわせてください。
- ② サイドパネルのツメがベッド本体に引っ掛かるまで、サイドパネルを押し込んでください。



- サイドパネルを取付ける際に、ボードを傷つけないように注意してください。
- 適合オプションを使用しない場合は、サイドパネルをひっくり返して穴のない面を上面にして取付け、オプション取付穴をふさいでください。オプション取付穴に異物が入ることを予防することができます。

16 組立後の点検

■ ベッドの組立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、53～54ページのチェックシートで点検してください。(53～54ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（59ページ参照）までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。



● 組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。



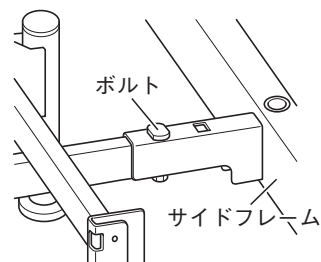
● 点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター（59ページ参照）までご連絡ください。

16 組立後の点検

チェックシート

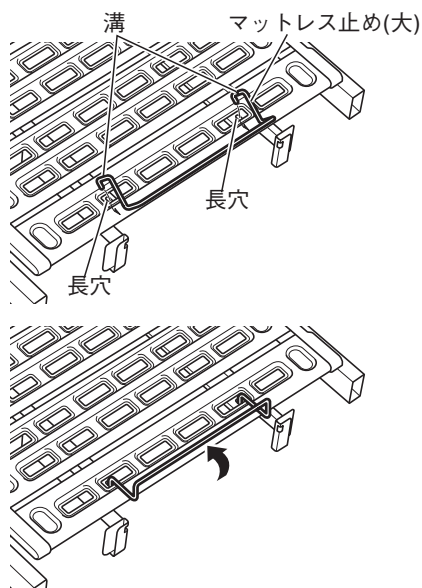
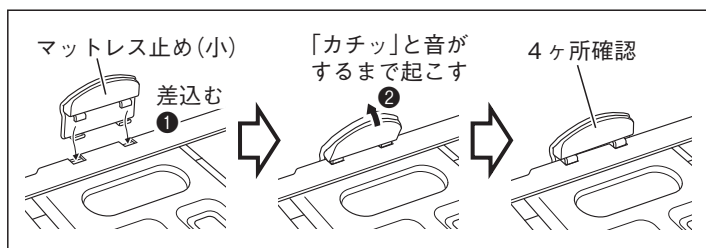
- 1** サイドフレームの固定
・サイドフレームがボルトとナットによってしっかりと固定されていますか？

- はい
いいえ→48ページ参照



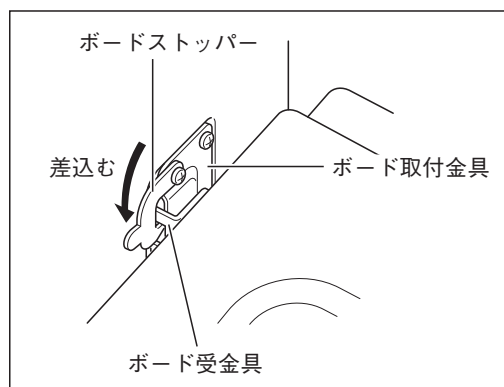
- 2** マットレス止めの取付け
・ボトムにしっかりと取付けられていますか？

- はい
いいえ→49ページ参照



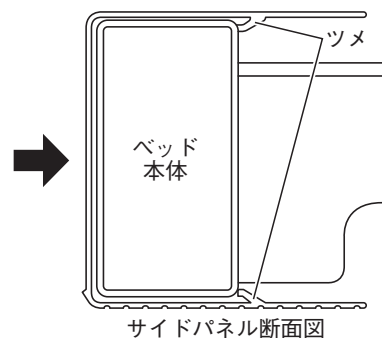
- 3** ボードの取付け状況の確認(頭側・足側)
・ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？
・ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？
・いちじるしいがたつきがありませんか？

- はい
いいえ→50ページ参照



- 4** サイドパネルの固定
・サイドパネルがしっかりと取付けられていますか？
(左右2ヶ所)

- はい
いいえ→51～52ページ参照



5 手元スイッチの確認

・電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

はい

いいえ→18ページ参照

6 操作時の確認

・手元スイッチで「らくらくモーション」「背あげ」「膝あげ」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか

異常はない

異常音がある → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡

※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。

動作しない（電源ランプが点滅する）→ 39～40ページ参照

ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

7 ベッド・電装品の傷や変形

・ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？

・手元スイッチに、傷や破損がありませんか？

ない

ある → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡

8 ラベルのはがれ

・ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

いいえ

はい（はがれている・文字が見えない）→ 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡

9 ベッドの滑り

・ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？

滑らない

滑る → アジャスターの下に敷物（脚座ゴムシート KQ-P732：別売など）を敷いてください。

調整・点検が必要な場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター  **0120-54-8639**

【受付時間】 平日8:00～19:00／土・日・祝日9:00～17:20（年始は休業いたします）

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは59ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。

17 ベッドの分解方法

■ベッドの分解は、販売店にご依頼ください。万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。



- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター（RA-05）を使用している場合は、キャスター（RA-05）を固定状態（回転しない状態）にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

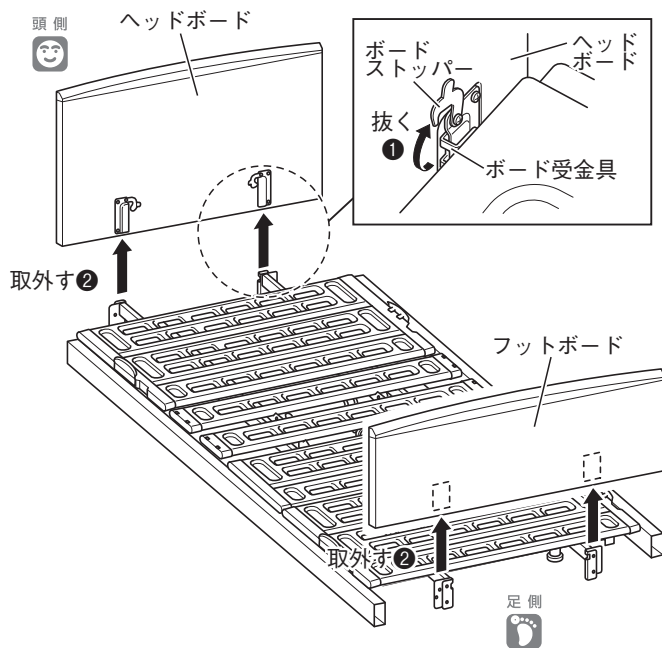
1. 分解作業前の準備



●取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。

- ①キャスター（RA-05）を取付けている場合は、キャスターを固定状態にしてください。
- ②オプション取付穴にベッドサイドレール・ベッド用グリップを取付けている場合は、取外してください。
- ③寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ④電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑤背ボトムと膝ボトムを水平にしてください。
- ⑥電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. ヘッドボード・フットボードの取外し



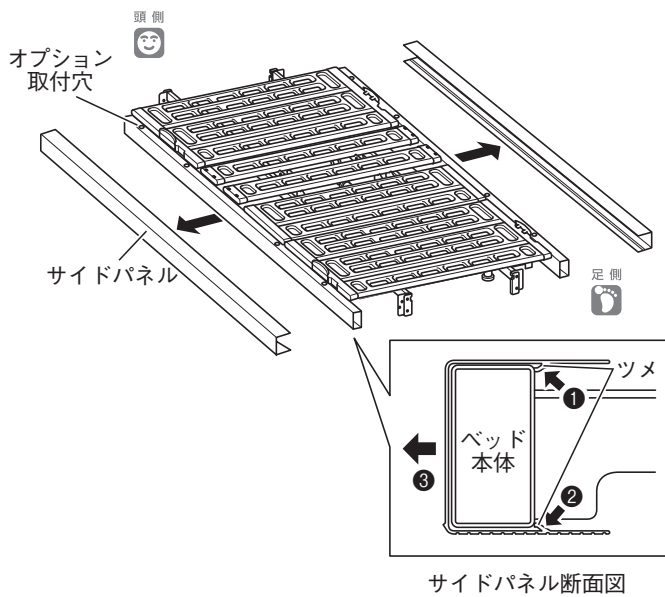
ヘッドボードの取外し

- ①ヘッドボードの左右のボードストッパーを、ボード受金具の穴から抜いてください。（解除）
- ②ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。

フットボードの取外し

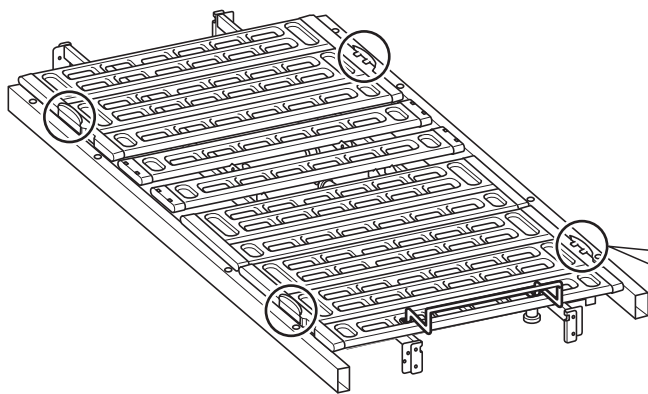
「ヘッドボードの取外し」と同じ要領で取外してください。

3. サイドパネルの取外し



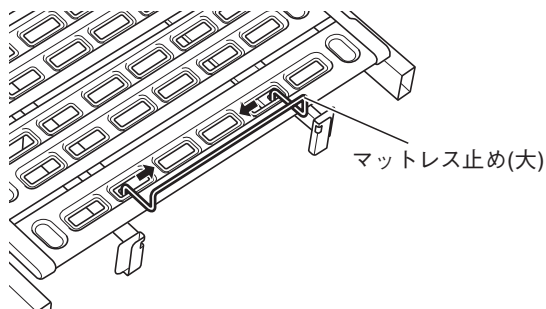
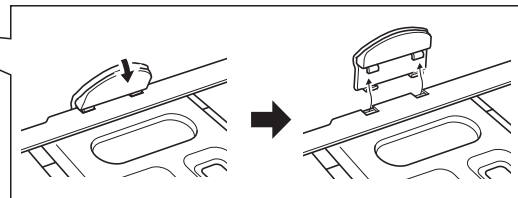
- ① サイドパネルの上側のツメを上方向に引きながら、サイドパネルの上面を手前に引き、サイドフレームからツメを外してください。
- ② サイドパネルの下側のツメを下方向に引きながら、サイドパネルの下面を手前に引き、サイドフレームからツメを外してください。
- ③ サイドパネルを手前に引き出し、取外してください。
- ④ ①～③の作業を左右のサイドパネルに対して行ってください。

4. マットレス止めの取外し



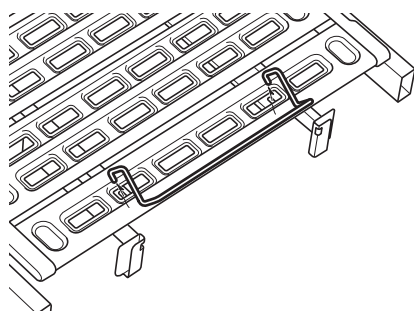
マットレス止め (小) の取外し

- ① 背ボトムと足ボトムのマットレス止め (小) を内側に倒してください。
- ② マットレス止め (小) を斜め上に引抜いてください。
(背ボトム・足ボトム左右各1ヶ所)



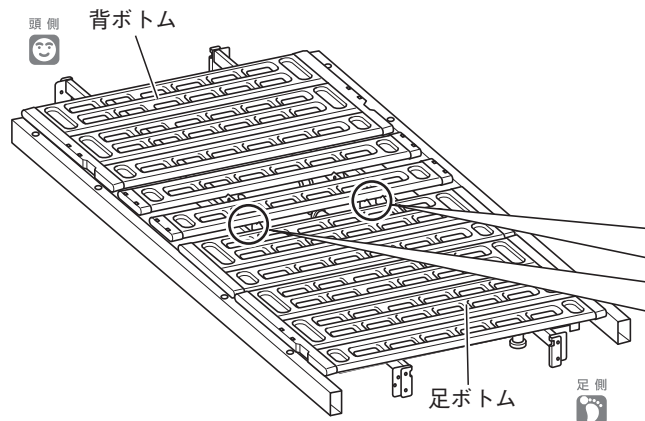
マットレス止め (大) の取外し

- ① マットレス止め (大) の先端を内側に押しながら真上に持ちあげ、溝を足ボトムの長穴から取外してください。
- ② マットレス止め (大) を傾けながら真上に持ちあげて取外してください。



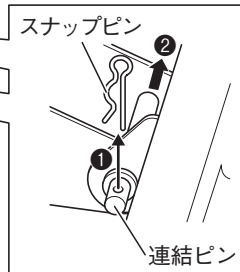
17 ベッドの分解方法

5. ボトムの取外し



足ボトムの取外し

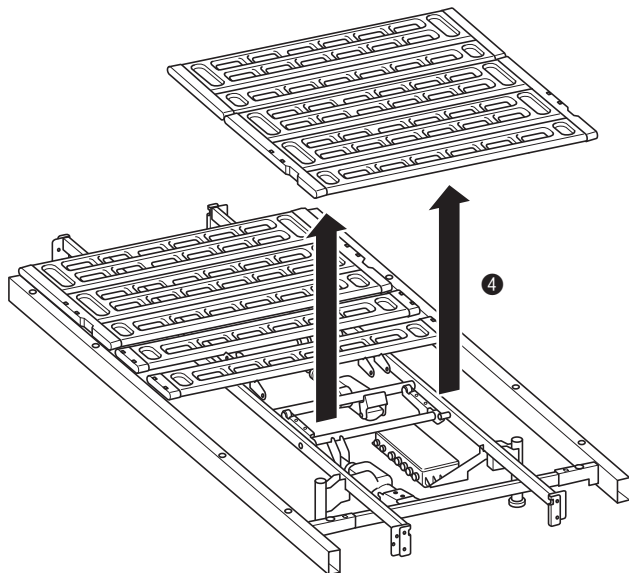
- ① スナップピンを上へ引抜いてください。
- ② 連結ピンを引抜いてください。
- ③ 上記の作業を左右2ヶ所に対して行ってください。



- ④ 足ボトムを取外してください。

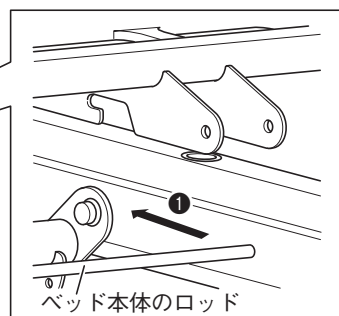


● 取外したスナップピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。

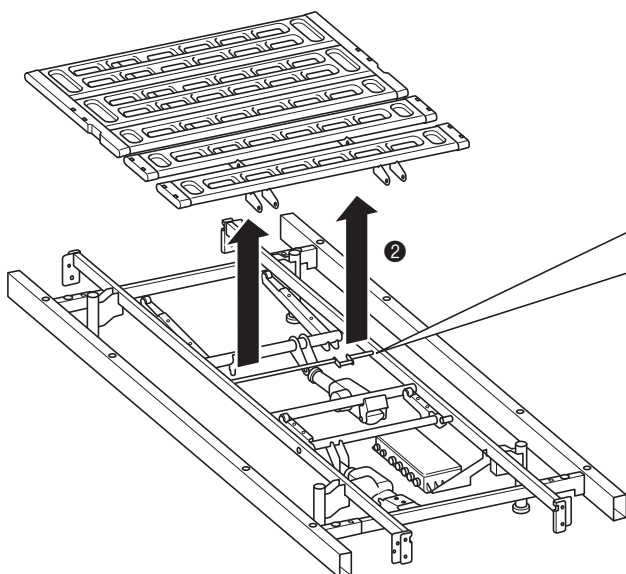


背ボトムの取外し

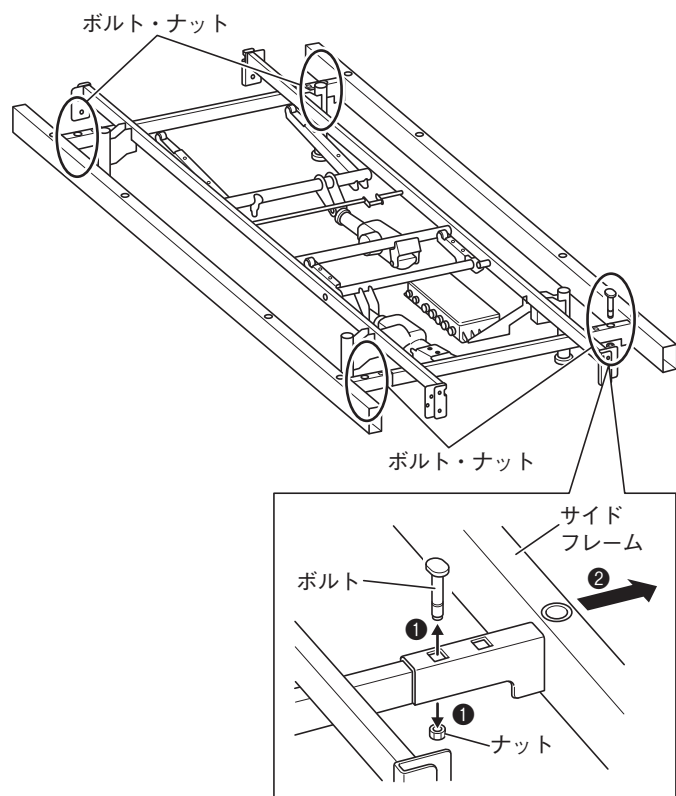
- ① 背ボトム全体を頭側にずらすようにして、背ボトムのブラケットの溝をベッド本体のロッドから外してください。
- ② 背ボトムを持ち上げて取外してください。



● ボトムの取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。



6. サイドフレームの取外し



- ① サイドフレームを固定しているナットをスパナ（対辺17mm）でゆるめ、ボルトとナットを取外してください。（頭側・足側2ヶ所）

注意

- ボルトとナットの取外しは、サイドフレームを支えながら片方ずつ行ってください。サイドフレームが落下し、けがをするおそれがあります。
- ② サイドフレームを引抜いてください。
 - ③ ①～②の作業を左右のサイドフレームに対して行ってください。
- サイドフレームの取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。



7. 付属部品と分解したユニットの保管

■ 付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。

アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の39～40ページ「**10** 故障かな?と思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は45～46ページ参照） ●お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく） ●お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間：平日8:00～19:00 / 土・日・祝日9:00～17:20（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

〈パラマウントベッド株式会社 直営店〉

眠りギャラリー TOKYO	〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テブコビル1階	☎(03)5250-1515(代)
眠りギャラリー SAPPORO	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)219-8800(代)
眠りギャラリー NAGOYA	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-6800(代)
眠りギャラリー OSAKA	〒541-0052	大阪市中央区安土町3丁目5番地12号御堂筋安土町ビル1階	☎(06)6267-5211(代)
眠りギャラリー FUKUOKA	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-0666(代)

〈パラマウントベッド株式会社〉

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒980-0013	仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階	☎(022)217-7311(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

INTIME

Produced by
PARAMOUNT BED